

**第5次行田市総合振興計画策定に向けた
ぎょうだ夢づくり会議**

提 言 書

**平成21年12月
ぎょうだ夢づくり会議**

はじめに

行田市は、新たな総合振興計画の策定にあたり、市民の意見を計画策定段階から反映させることを目的として、また、市民の視点から今後のまちづくりを検討していくために、県内初の取組みとなるプランクスツェレの手法を会議に導入。住民基本台帳より無作為抽出された1,000人の中から、この取組みに共感した私たち54名の市民と有志職員5名が集い、「ぎょうだ夢づくり会議」が設置されました。

会議は平成21年9月から11月の期間中5回にわたり開催され、「まちづくり・環境」、「福祉・健康」、「教育・生涯学習・文化活動」、「商工業・農業・観光」、「コミュニティ・市民活動」の5つのテーマをベースとして、それぞれの関心に従って5つのグループに分かれ、「自助・共助・公助」の観点から行田市が向かうべき方向性や今後取り組むべき事業について議論を深め、今回、それらの議論の結果をとりまとめた提言書の作成に至りました。

この提言書を作成するために集まったメンバーは、会議が開催された3ヶ月の期間中、多忙な時間を縫って情報交換を行い、私案をまとめ、日曜日に開催される会議での意見交換という過程を経てまいりました。このことから、文章として掲載されている内容以上に、私たちの思い、願い、決意が込められた提言書であることを認識していただきたいと思います。

提言内容については、私たちが特に提言したいことを列記しておりますので、第5次行田市総合振興計画に掲載すべき全領域・全施策を網羅しているものではないかもしれませんが。しかしながら、ぎょうだ夢づくり会議において私たちが議論してきた成果は、行田市の未来に一石を投じたものと考えますので、提言書の内容について、これから設置される審議会等においても十分に斟酌いただき、行田市の未来を展望した計画づくりに反映していただきたいと存じます。

おわりに、ぎょうだ夢づくり会議において市民同士の新たなつながりを持てたことに感謝するとともに、本提言書が平成23年度からスタートする第5次行田市総合振興計画策定の一つの礎となることを強く願い、ここに提言いたします。

ぎょうだ夢づくり会議参加市民一同

目次

第1章 ぎょうだ夢づくり会議の概要	1
第2章 各分野における提言内容	3
1 まちづくり・環境等の分野について.....	3
(1) 環境における「緑」推進プロジェクト.....	3
(2) 未来におけるゴミ問題クリーンプロジェクト.....	6
(3) 公共におけるマナー向上プロジェクト.....	8
(4) 地域における防犯・防災強化プロジェクト.....	10
2 福祉・保健等の分野について.....	11
(1) 地域いきいき友愛プロジェクト.....	11
3 教育・生涯学習・文化活動等の分野について.....	14
(1) 学校教育充実プロジェクト.....	14
(2) 行田の人を集めるプロジェクト.....	16
(3) 文化と伝統の掘り起こしとなるまちづくりプロジェクト.....	18
4 商工業・農業・観光等の分野について.....	22
(1) 行田を知ってもらおう！！プロジェクト.....	22
(2) 農業で生きる！！プロジェクト.....	25
5 コミュニティ・市民活動等の分野について.....	28
(1) 人と人がつながるまちづくりプロジェクト.....	28
(2) 観光から始める市民参加型のまちづくり.....	31
ぎょうだ夢づくり会議参加者名簿	34
資料編	36
1 第1回会議について.....	36
(1) 第1回会議の概要.....	36
(2) 第1回会議の当日プログラム.....	37
2 第2回会議について.....	38
(1) 第2回会議の概要.....	38
■ワークショップについて.....	39
(1) ワークショップとは.....	39
(2) ワークショップのポイント.....	39
(3) ワークショップの進行は….....	39
(4) ワークショップに入る前の確認事項.....	39
■第2回ワークショップの流れについて.....	40
(2) 第2回会議の当日プログラム.....	42
(3) 第2回会議の模造紙まとめ.....	43
3 第3回会議について.....	54
(1) 第3回会議の概要.....	54
(2) 第3回会議の当日プログラム.....	58
(3) 第3回会議の模造紙まとめ.....	59

4	第4回会議について.....	69
	(1) 第4回会議の概要.....	69
	(2) 第4回会議の当日プログラム.....	71
5	第5回会議について.....	72
	(1) 第5回会議の概要.....	72
	(2) 第5回会議の当日プログラム.....	74

第1章 ぎょうだ夢づくり会議の概要

ぎょうだ夢づくり会議では、行田市第5次総合振興計画を策定するにあたり、市民の視点から行田市のまちづくりを検討していくため、以下の5つのテーマごとに10～13名のグループを構成し、グループごとにワークショップ方式にて話し合いを進めてきました。

会議は全5回にわたり実施されました（全体プログラムは次頁を参照）。

第1回の会議では、行田市の現状や総合振興計画についての説明を受け、その後グループごとに自己紹介をいたしました。

第2回の会議では、各参加者が日頃感じている行田市の強み（良いところ、好きなところ）と弱み（悪いところ、嫌いなどころ）を出しあい、KJ法^{*}にてグルーピングしたのち、特に共感できる（重要だと思う）意見を指摘しあい、共有しあいました。

第3回の会議では、前回の強みと弱みを踏まえて、市民と行政などが協働できるアイデアをテーマごとに出しあいました。前回と同様にグルーピングしたのち、特に必要（重要）なアイデアを指摘しあい、共有しあいました。

第4回の会議では、これまでの議論を踏まえ、参加者一人ひとりの思いを凝縮し、協働のプロジェクトとしてまとめていきました。

そして、最後の第5回の会議では、前回のプロジェクトをまとめた提言書を確認し、後半では全5回で話し合われた内容について、グループごとに発表しあい、全体で共有しあいました。

このような検討の過程を経て、この提言書が生まれています。

■各テーマと参加人数

グループ	テーマ内容	人数
A	快適で住みよいまちをつくるために（まちづくり・環境等）	11名
B	健康で幸せなまちをつくるために（福祉・保健等）	10名
C	教育の充実と文化を育てるまちをつくるために（教育・生涯学習・文化活動等）	13名
D	産業盛んな豊かなまちをつくるために（商工業・農業・観光等）	13名
E	心ふれあうまちをつくるために（コミュニティ・市民活動等）	12名

■KJ法とは

KJ法は、話し合いで出された意見について、似たもの同士で集めグループ分けをしながら、問題解決のアイデアを出していく手法です。

KJ法の呼び名は、考案者・川喜田二郎氏のイニシャルを由来としています。

■会議の全体プログラム

	開催日時・場所	内 容
第1回	9月6日(日) 13:30~16:00 教育文化センター「みらい」 第1学習室ほか	「私たちのまちの状況を確認しよう！」 ＜レクチャー形式＞ ・会議の目的や総合振興計画についてお話しします。 ・統計資料などをもとに、今の行田市の状況をお話しします。 ・簡単な自己紹介をしていただきます。
第2回	9月13日(日) 13:30~16:00 教育文化センター「みらい」 第1学習室ほか	「まちの強み・弱みを洗い出そう！」 ＜ワークショップ形式＞ ・市の現状をふまえ、市の持つ強み・弱み、資源や課題について、グループで話し合ってください。
第3回	10月4日(日) 13:30~16:00 教育文化センター「みらい」 第1学習室ほか	「協働のアイデアを考えよう！」 ＜ワークショップ形式＞ ・第1回、第2回の結果をもとに、市民と行政の協働のアイデアについて話し合ってください。
第4回	10月18日(日) 13:30~16:00 教育文化センター「みらい」 第1学習室ほか	「協働のプロジェクトを考えよう！」 ＜ワークショップ形式＞ ・第3回の結果をもとに、今後、市民と行政が重点的に取り組むアイデアを選定し、協働のプロジェクトとしてさらに内容を深めた話し合いを行います。
第5回	11月15日(日) 13:30~16:00 教育文化センター「みらい」 第1学習室ほか	「これまでの成果を発表しよう！」 ＜発表会形式＞ ・提言書の内容について確認し合います。 ・各グループがこれまで話し合ってきた内容について、グループごとに発表し、参加者全員で内容の共有化を図ります。

※会議資料より抜粋

第2章 各分野における提言内容

1 まちづくり・環境等の分野について

快適で住みよいまちをつくるために、以下の内容を提言します。

(1) 環境における「緑」推進プロジェクト

【目的】

豊富な自然環境の保全に努めるとともに、身近な緑や花を育て、休耕地を活かし、うつくしいまちなみづくりを推進する。

【現状や課題】

- ・公園が多い。
- ・緑や川などの自然が多く、空気がきれい。
- ・休耕地、空き地の雑草が目立つ。
- ・農地放棄の土地が多い。
- ・街路樹が少ない。

【協働による取り組みの方向】

①緑を豊かにする

個人の家や地域に花や緑を植えて、緑豊かな地域をつくる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■家の周りや地域に花を植える <ul style="list-style-type: none">・家の庭に花や木を植える・道端等に花を植えるボランティアに参加する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・地域で公園や道路に花や木を植える・地域ごとにコンセプトプランを話し合い、統一した景観とする・花の育て方等の指導講座を開催する（バイオ肥料の作り方など）
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・市民に花の苗をプレゼントする（育て方質問サービスの設置）・境界ブロック、フェンスを生垣にするための補助制度の設立・地域への補助・街路樹を植える

②耕作地の活性化・農業との共生

休耕地を農地として貸し出し等を行い、耕作地を活性化するとともに、ボランティアやイベント等を通して農業との共生を進める。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・農業ボランティアに参加する・就農に就きたい人がいたら、紹介する・休耕地、空き地に関心を持つ
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">■農業に関する周知・啓発を行う<ul style="list-style-type: none">・農業に関するイベントを企画する（体験講座など）・市民に対して農業活動の啓発運動をする・就農希望者に対してセミナーを行い、支援を行う■休耕地を利用する<ul style="list-style-type: none">・古代米づくりを行う・さつまいも体験やコスモスの栽培など、四季を通じて利用できるようにする
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">■農地の貸し出しを行う<ul style="list-style-type: none">・就農者育成都市として、農協と連携し、広く就農者を受け入れる・農地を管理し、家庭、学校、地域への貸し出しを行う・就農希望者への農地の貸し出しを行う■休耕地管理者への働きかけを行う<ul style="list-style-type: none">・耕作放棄地を行政委任してもらう働きかけを行う・休耕田の地主さんに、責任を持って管理してもらえる指導をする・休耕地の利用をお願いする

③アート

自然を活用したアートを推進する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・知人のアーティストの紹介をする・アート活動の場を発見したら、行政へ情報を伝える
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・アーティストとの交流会を開く・地域全体で応援活動をする・NPO法人を立ち上げ、運営を行う・田んぼアート、フラワーアートをつくる
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・行田出身、または、若手のアーティストを発掘する・アート活動ができる場所を探す（農地、工業団地内、空き店舗等）

④川の美化

清掃活動等を通して、川の環境美化を進める。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・川辺の桜並木の除草、ゴミ拾いボランティアに参加する・ゴミを捨てない・油などを台所から流さない
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・定期的に地域と事業者で協力して、除草、清掃活動を行う・地域でゴミ拾いを行う
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・川辺の見廻りを定期的に行い、地域でできることは地域へ働きかけていく

⑤地球温暖化防止

エコや省エネを心がけて、地球温暖化防止に向けて一人ひとりが取り組む。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・マメにスイッチを消す・エコドライブを行う
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・省エネ装置の導入
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・温暖化防止を啓発する・森をつくる

(2) 未来におけるゴミ問題クリーンプロジェクト

【目的】

持続可能な資源循環型社会を目指すため、市民、事業所、行政の連携と協働をもとに、ごみの減量化、資源化を推進する。

【現状や課題】

- ・燃えるごみの収集が毎日ある。
- ・ペットボトルの回収がない。
- ・ゴミのポイ捨てが多い。
- ・ゴミ出しのマナーが悪い。
- ・公園にゴミ箱が少ない。

【協働による取り組みの方向】

①まちじゅうをきれいにする

一人ひとりがまちをきれいにする、という意識を持って、清掃活動等に取り組む。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■ゴミを拾う意識を高める <ul style="list-style-type: none">・ゴミを見たら、すぐに拾う・年に1回はゴミ拾いに参加する・ゴミのポイ捨てをしない
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・ボランティア活動をアピールする・ゴミ拾いイベントなどを開催する・自治会で月1回程度ゴミ拾いを行う・子どもたちにゴミ拾いのボランティアをしてもらう・店の前にゴミ箱を置く
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・市民ゴミ拾いイベントを開催し、運営する・学校へのマナー教育を推進する・公園やポイ捨ての多い所に、分別できるゴミ箱を設置する

②家庭ごみの分別マナーと4R

一人ひとりがゴミの分別マナーを守り、資源のリサイクル活動を推進するとともに、ゴミを減らす意識を持つ。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・リサイクルできるペットボトルなどをスーパーなどのリサイクルで出す・市の決まりに従い、分別してゴミを出す・ゴミになるものは買わない、もらわない・残さずに使い切る
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・リサイクルステーション（スーパー）の維持・リサイクルステーションの場所を増やす・ゴミの出し方を表示、助言する・自治会とともに、ゴミ出しマナーと集積所の問題を考える
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・ペットボトルを収集し、リサイクルに回す・地区外へのゴミの持ち込みを禁止する・ゴミ袋の有料化・ゴミの収集回数、頻度の見直しを行う

< 4Rとは？ >

ゴミ減量のための4つの行動理念（考え方）。私たちの消費生活のなかでのさまざまなシーンで活用できる、「リフューズ=いらぬものは断る」「リデュース=減らす」「リユース=再利用する」「リサイクル=再資源化する」の「R」ではじまる4つの行動が「4R」です。

③エコ活動の推進

エコバック等を持参し、買い物袋をもらわないなど、エコ活動を推進する。また、エコ活動の推進に向けて、市民と行政等が話し合う場を持ち、アイデアを出し合う。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・エコバックを持参する・スーパーで袋をもらう数を減らす・ゴミにならない買物を心がける
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・エコバックでのポイントの活用・コンビニでもエコポイントなどを行う
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・エコポイントの活用方法を決めて、何か使えるものを考える・市民等とアイデアを出し合う場を持つ

(3) 公共におけるマナー向上プロジェクト

【目的】

市民1人ひとりが他人を気遣う意識を持つことにより、だれもがすみよいまちを目指す。

【現状や課題】

- ・大きな公園があり、自然と触れ合える。
- ・ゴミのポイ捨て、犬のフンなど、マナーの悪さが目立つ。
- ・喫煙マナーが悪い。
- ・車道が狭かったり、歩道がないなど、道路事情が悪い。
- ・飲酒運転や携帯電話をしながら運転するなど、運転マナーが悪い。

【協働による取り組みの方向】

①うるおい・ふれあいのある公園づくり

マナーを守って、気持ちよく利用できるうるおい・ふれあいのある公園づくりを行う。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・イベントがあったら、参加する・持ち込んだゴミは、きちんと持ち帰る・目についたゴミは拾う
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・フリーマーケット、防災訓練、まつりなどでの利用を企画する・定期的にゴミ清掃を行う
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・地域、市民の企画に協力する・分別できるゴミ箱の設置・安全に利用できるよう、パトロールを行う

②あらゆるマナーの向上

環境・喫煙・交通等における、あらゆるマナーの向上を進める。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・自宅周辺のゴミ拾いを行う・美化運動に参加する・犬の散歩の際は、必ず袋を持参し、持ち帰ってもらう・喫煙者は、周りにいる人へ配慮する・交通マナーを守る
-------	--

地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧でマナーの向上を呼びかける ・学校でタバコの人体への影響を教育する ・イベント開催時には、喫煙場所を設ける ・飲食店で飲酒した人には、運転させない取り組みを強化する ・交通安全教育や意識の啓発を行う
行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域にマナー向上の案内板の設置 ・路上や喫煙場所以外での喫煙について注意したり、罰則を設けたりする ・条例のアピールをする

③交通インフラの再整備

公共交通機関を整備し、移動手段を確保するとともに、環境負荷の軽減のため、公共交通機関を利用する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・歩けるときは、歩いて行動する ・自転車や循環バスを利用する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・車の相乗りで行動する
行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、駐輪場の整備 ・循環バスの時間、利用額、路線の見直し ・案内板をわかりやすくする ・歩道を設置する ・道路の補修を強化する

(4) 地域における防犯・防災強化プロジェクト

【目的】

地域における防犯活動を積極的に取り組む。また、地域の防災力を強化して、地域住民が安心して生活を営めるようにする。

【現状や課題】

- ・災害が少ない。
- ・自主防災組織の補助。
- ・ボランティアによる市民活動。
- ・定期的にパトロールしている。
- ・災害に対する意識が低い。

【協働による取り組みの方向】

①犯罪のないまちづくりをする

市民の防犯意識の向上を徹底し、地域ぐるみで防犯体制を充実させる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・朝夕の自宅周辺の見守りを行う・隣近所の人と声かけを行う・近所付き合いを良くする・防犯パトロールに参加する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・防犯パトロールのPR及び強化を行う・子どもの下校時にボランティアが付き添いをする・一人暮らしの高齢者や障害者等を地域で把握する
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・防犯パトロール及び下校時の見守り隊への公的支援を強化する・警察の協力をお願いする・防犯灯の設置の推進

②災害に強いまちづくりをする

市民の防災意識の向上を徹底し、日頃から防災訓練等を通して、災害に備える。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・地区の防災活動に参加する・防災用品を常備する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・自衛防災隊の参加及び推進
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・防災訓練を充実させる・災害時に迅速な対処ができる体制をつくる

2 福祉・保健等の分野について

健康で幸せなまちをつくるために、以下の内容を提言します。

(1) 地域いきいき友愛プロジェクト

【目的】

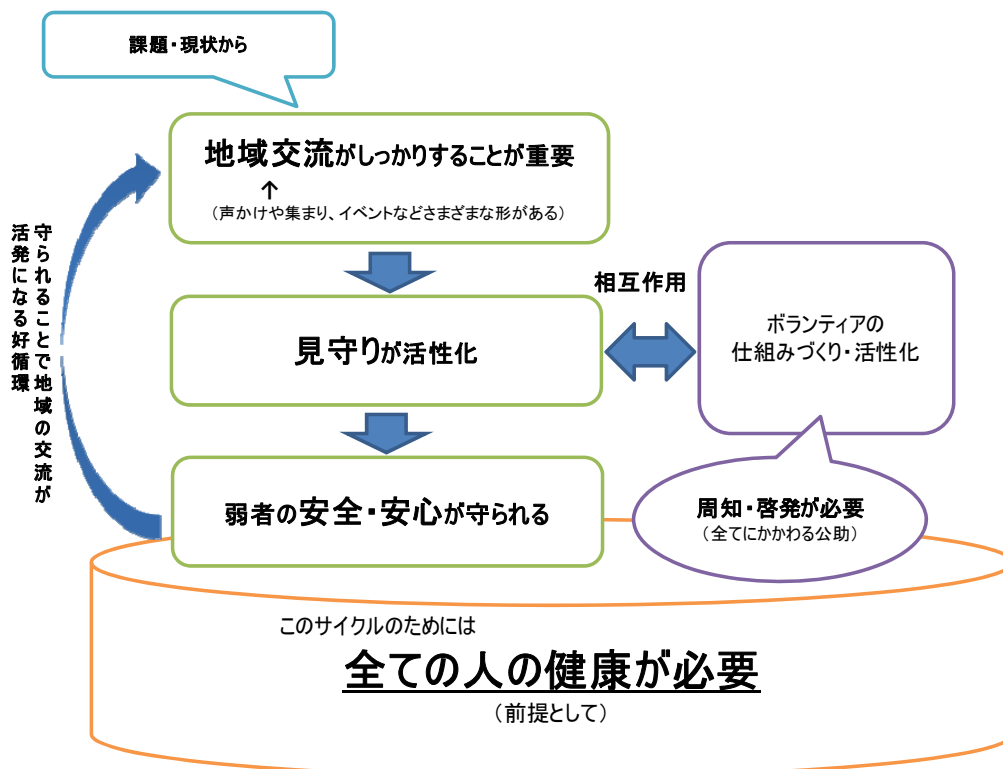
人である以上、他人とのかかわりの中で社会に参画していくことが大事であり、そうした地域の交流を見守り活動等に活かし、地域の安全・安心を構築していく。

また、安全・安心が得られることで、地域の交流が活発になっていく好循環を生み出すことを目指す。

【現状や課題】

- ・地域のコミュニケーションが深い。
- ・元気な高齢者が多い。
- ・民生委員、ボランティア等の活動に関するプライバシーの問題。
- ・一人暮らし高齢者世帯の増加。
- ・制度、サービスの周知が足りない。
- ・市民が集える場がない。

■フロー図



【協働による取り組みの方向】

①地域の活力は健康から

誰もが健康な生活を送ることができ、地域活動に積極的に参加することができるよう、市民一人ひとりが自ら行う健康づくりを支援するとともに、健康づくりの機会や場を充実させる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■自分の健康は自分で管理する <ul style="list-style-type: none">・健康づくりのため、食事・運動を心がける（たんぱく質・脂肪・野菜）・信頼できるかかりつけ医をつくる・健康講座などに参加する
地域の役割	■イベント等を通して健康づくりの取り組みを広める <ul style="list-style-type: none">・お年寄り向けの健康体操などを公民館、公園単位など歩いて行けるところで実施し、参加者を増やす・医師会、介護事業者の主催の講座などのイベントを開催する
行政の役割	■健診等のサービスを充実させる <ul style="list-style-type: none">・保健センターを充実させる ■市民の健康づくりの場を充実させる <ul style="list-style-type: none">・中年代の人を中心となり、お年寄りが楽しめる催しを増やす・屋内でできるお年寄り向きの運動場を整備する・健康器具を公園や施設に設置する

②地域交流を活性化しよう

市民に対して、地域活動に参加するよう促すとともに、自治会・子ども会・老人クラブなど既存の地域の組織を中心に、地域交流の輪を広げるしくみをつくる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■積極的に声かけをする <ul style="list-style-type: none">・意識して周りを見してみる・あいさつ運動を行う ■イベント等に積極的に参加する（その情報を得る） <ul style="list-style-type: none">・市の催し物などに参加し、情報を得る・市報がきたら、気をつけて見る
地域の役割	■地域の組織・集まりを活用する <ul style="list-style-type: none">・自治会役員だけの集いにならないよう、住民に働きかける・自治会、子ども会、老人クラブなどが主催の行事をひらく（各団体交流のイベントも含めて）・地域交流、情報提供の場をつくる

行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ■地域で交流できる場を充実させる <ul style="list-style-type: none"> ・市の「出前講座」で勉強会を開催する ■地域活動に対する経済的な支援をする <ul style="list-style-type: none"> ・活動の際にかかる費用を最低限、市が負担する
-------	--

③みんなでやろう見守りボランティア

誰もがボランティアの担い手であり、受け手でもあることを意識し、見守り活動に取り組む。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ■見守りボランティアに参加する <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加し、見守りその他できることをする ・市民一人ひとりが見守りボランティアの意識を持つ ■相互扶助を意識する（ボランティアの担い手でもあり、受け手でもある）
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ■民生委員等、すでに活躍している人を活用する <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や民生委員の下にボランティアを組織化して訪問する ■見守り活動を情報収集、情報共有の場としても活用する
行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア活動に取り組みやすいよう、情報の周知、広報、啓発を徹底する <ul style="list-style-type: none"> ・各ボランティア等と連携を図り、的確に対応する ・制度、サービスに関する情報の周知を充実させる

④ボランティアに参加しやすい仕組みづくり

ボランティア同士のネットワークを構築するとともに、行政等関係機関と連携し、気軽にボランティアに参加しやすいしくみをつくる。

【具体的取り組みの提案】

地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア同士の組織化をすすめる <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの組織をつくる ・ボランティアの能力アップのための講座を開く ・ボランティアをする人、してもらいたい人のニーズをまとめる ・ボランティアの募集方法を確定する
行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア活動に取り組みやすいよう、情報の周知、広報、啓発を徹底する ■ボランティアを保護する <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの良いところを広報等で積極的にPRする ・地域へボランティアの広報を行う

3 教育・生涯学習・文化活動等の分野について

教育の充実と文化を育てるまちをつくるために、以下の内容を提言します。

(1) 学校教育充実プロジェクト

【目的】

確かな学力と生きる力を兼ね備えた人間を育成できるよう、全国一の教育水準をめざして行田市を教育先進都市とする。

【現状や課題】

- ・先生にゆとりがない。
- ・学校が地域にとって開かれたものとなっていない（地域との繋がりが希薄である）。

【協働による取り組みの方向】

①学習環境の充実

少人数学級や習熟度別クラスの導入、チームティーチング制の採用など、それぞれの学校がきめの細かい学習環境を充実できるように取り組む。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■学校になるべく参加する <ul style="list-style-type: none">・学習内容や学習方法等について確認するため、オープンスクールに参加して確認する・社会人としてのこれまでの経験を伝える・英語のできる人は、学習の補助に入ってもらおう・さまざまなスキルを持つ人に、学校で積極的に講演や指導をしてもらう
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・公民館などでセミナーを開き、英語に興味を持ってもらう
行政の役割	■教育にお金を惜しまない <ul style="list-style-type: none">・少人数学級や習熟度別クラスを導入する・先生を2人体制にするチームティーチング制を導入する・クラブコーチに専門家を招聘し、教員は専門でない部活に時間を取られないようにする・海外経験の長い人から英語教育を受ける

②教員の充実

教員一人ひとりがゆとりの時間を持ち、研修等を通じて自らレベルアップできるようなしくみをつくる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のゆとりの時間を増やして、実力を養う ・先生に話したいことがあれば、遠慮なく学校に出かけ、穏やかに話し合う ・先生との信頼関係の構築に努める
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室でサポート教員（ボランティア）として活動してもらう
行政の役割	<p>■教員の研修の機会を保障する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生にこそゆとりの時間を与え、教員自ら力を伸ばし、生徒に慕われる先生になれるよう支援する ・浮き城先生を長期勤務できる制度をつくる ・予備校講師や高校・大学の先生等の専門家を手配する ・ボランティアティーチャーやパートの先生などを登用し、授業のサポート人材として活用する

③民間の力を活用した人間力の育成

学校が積極的に地域と交流を持ち、さまざまなスキルや経験を持つ民間の人材を活用するとともに、職業体験等を充実し、子どもの人間力の育成に取り組む。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<p>■人材バンクに登録する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業上の特技をすべて登録する（野菜の育て方や植木の刈り方など何でもよい） ・子どもに理不尽なことを言わない、常識やモラルを見直す ・いじめ問題にも積極的に取り組む
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域と情報を共有する ・町内会が学校と連携する ・職業の組合が進んで協力する ・第3の目で抜き打ち的に現場を見る ・子どもの駆け込み寺のようなシェルターを地域ぐるみで確保する
行政の役割	<p>■（仮）人間力育成課をつくり、人材バンクの管理と活用を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が個々に講師を探すのではなく、一元的に管理し人材を派遣する。絶えず大人との交流を図る ・一流の人を講師に招き、可能な限り実演してもらう ・職業体験を多くし、教育課程に組み入れる ・学校に集会場を設置する

(2) 行田の人を集めるプロジェクト

【目的】

生涯学習活動に関する現状やニーズをまずは把握し、拠点機能を整備してニーズに応じたカリキュラムを充実させる。また、人材の育成を図り、コーディネート機能を高めることで人材の積極的な活用を行うとともに、宣伝・PR活動の充実により、さらなる充実を図る。

【現状や課題】

- ・高齢者のシルバー人材を活かした生涯学習活動の充実ができるのではないか。
- ・教育は子どもが受けるものとは限らないので、若者と大人の掛け橋のようなことが必要である。
- ・農業の後継者が少ない。

【協働による取り組みの方向】

①現状の把握

まずは、生涯学習活動に関して、どのようなニーズがあるのかを把握することが必要である。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	・どんな活動が必要かについて意見を出す
地域の役割	・市民が参加できる活動を企画する ・使用できる施設を把握する
行政の役割	・ニーズを把握するとともに、活動団体の企画をバックアップする

②拠点機能の充実

他市にある生涯学習センターのような拠点機能を充実させ、行田らしい（農業など）カリキュラムをつくる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	・親子で参加する
地域の役割	・皆が楽しんで参加できる講座を開設する
行政の役割	■拠点機能の充実 ・他市にある生涯学習センターのような拠点機能を整備・充実する ・生涯学習活動に対しては無償（または低料金）で場所を提供する ・市民大学を継続する ・公民館活動や地域活動などでのマニュアルを作成する ■カリキュラムの充実 ・行田らしい（農業など）カリキュラムをつくる ・実際の農業体験など、体験講座を充実させる

③人材の育成と活用

人材を育成し、積極的に活用することで、世代間や地域間のさまざまな交流を生み出す。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に公民館や地域の活動に参加する ・ボランティア農業指導者になってもらう ・知識や経験を持っている人は積極的に登録する
地域の役割	<p>■各種団体の設立促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で人材を育成する ・一般農家から、ボランティア指導者の団体を設立する ・各種ボランティアの設立をめざし、協力しあう
行政の役割	<p>■人材バンクを創設する</p> <p>■地域や学校等と連携する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の登録制を行う ・農地を提供してもらうよう依頼していく ・人材を学校教育で活用するよう、学校等に働きかける ・公民館などでは入門講座、拠点施設では上級講座など、地域と連携する

④宣伝・PRの充実

より多くの市民に伝わるよう市報やホームページ等を充実して積極的に宣伝・PRするとともに、さまざまな媒体を活用してPR方法の工夫をこらす。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に情報を収集し、できるだけ参加する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協力し、市民との橋渡しを積極的に行う
行政の役割	<p>■多面的なPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報や自治会報などでPRする ・市報を読まない層にもPRする ・行田市のホームページを見やすく内容を充実する ・学校で宣伝する ・無作為に抽出してPRする（全市民に対してよりも注目度が高まり効果がある） ・講座名は、人を惹きつけるタイトルにする

(3) 文化と伝統の掘り起こしとなるまちづくりプロジェクト

【目的】

足袋や埼玉古墳群、忍城、ゼリーフライといった行田特有の文化や伝統資源を活用し、市民等と協働して新たなソフト開発や魅力づくり等の掘り起こしにより、まちづくりを活性化させる。

【現状や課題】

- ・歴史資源等の調査や研究が途中段階であり、歴史的・文化的価値が確立されていない。
- ・PRが不足している。
- ・足袋蔵や埼玉古墳群、郷土博物館等の地域資源が豊富である。

【協働による取り組みの方向】

①足袋のまちづくりの推進

足袋蔵の保存や活用、足袋関連の新商品開発を行い、足袋の伝統・遺産を活かしてまちづくりを活性化させる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■ 口コミ等によるPR <ul style="list-style-type: none">・市外の友人や知人にPRする・現代的な足袋の利用方法等のアイデアを提供する・個人の住宅の一部を足袋蔵のまちのモチーフに合うようにする
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・足袋の史料や製造工程、機械や道具等を保守・管理する・蔵めぐりネットワークを活性化させる・地域ぐるみでの足袋の景観再生について意識を向上させる・足袋の生産会社との連携及びエコ袋等のものづくりに活かす
行政の役割	■ PRや体験活動の充実 <ul style="list-style-type: none">・行田の足袋を全国的にPRする・観光大使制度のさらなる充実と効果的な活用・NPOとの連携を図り、「足袋と暮らしの博物館」の活用の充実を図る ■ 足袋蔵等の保存に向けた支援の充実 <ul style="list-style-type: none">・足袋蔵等への固定資産税免除など、保存に向けた支援を充実する・景観条例等の整備や足袋のまちをモチーフにした伝統的街並の再生を図る ■ 新たな産業の振興 <ul style="list-style-type: none">・足袋の生地を活用して袋物等の生産による地場産業の振興

②埼玉古墳群の活用

県と連携し、埼玉古墳群の整備と古代蓮の里公園とのタイアップやリンク化を図り、観光客を増加させる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■市民ぐるみの発見・発掘活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財発掘にボランティアとして参加し、友人にも呼びかける ・市外の友人や知人にPRする
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO等による文化財発掘を活性化させる
行政の役割	■県と連携した古墳の有効活用 ■各種観光資源とのタイアップ・リンク化 <ul style="list-style-type: none"> ・古墳公園内のトイレを整備する ・古墳の駅（道の駅）をつくり、地場産物の販売やレストランでB級グルメなども食事できるようにする（フライPRとのタイアップ） ・古代蓮の里公園とタイアップし、観光客を増やす ・無償ボランティアを活用し、文化財発掘体験活動を実施する ・バス路線を充実する

③忍城の活用

小説「のぼうの城」の映画化をきっかけとして、ハード・ソフト両面にわたって忍城関連の充実を図る。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■個人的研究活動を活性化させる <ul style="list-style-type: none"> ・市外の友人や知人にPRする ・個人で所有する史料や文化財等の研究を提供する ・観光ボランティアになり、スキルアップする ・博物館友の会に入会する
地域の役割	■研究学会の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ・行田市民戦国学会を立ち上げる ・成田家と協力し、成田家顕彰会を創設する ・観光ボランティアのスキルアップと人員を増強する
行政の役割	■人材を活用する <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習で育成された人材（人材バンク等）を活用する ・著名な専門家に対して調査・研究を依頼する ・市民学会に対して助成し、PR活動に協力する ・郷土博物館の魅力を高め、活用方法を工夫する ・忍城の甲斐姫を主人公とする大河ドラマ化を推進する ・県や他市と共同して、活動する

④B級グルメの活用

B級グルメであるフライやゼリーフライの新しいバリエーションを官民が一体となって考案するとともに、さまざまな観光資源とタイアップすることで相乗効果を狙う。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	・各家庭のレシピ等を提供し、市民ぐるみで新商品を開発する
地域の役割	・営業店の新作コンテストを開催し、食生活改善委員会や公民館のサークル等も参加する
行政の役割	■フライ・ゼリーフライの新しいバリエーションづくり ・B級グルメをさらに進化させ、積極的に発信する

⑤積極的なPRと全市的な会議の設立

行田市の歴史や文化、伝統を積極的にPRするとともに、活用方法を話し合う全市的な協議団体を設立する。

【具体的取り組みの提案】

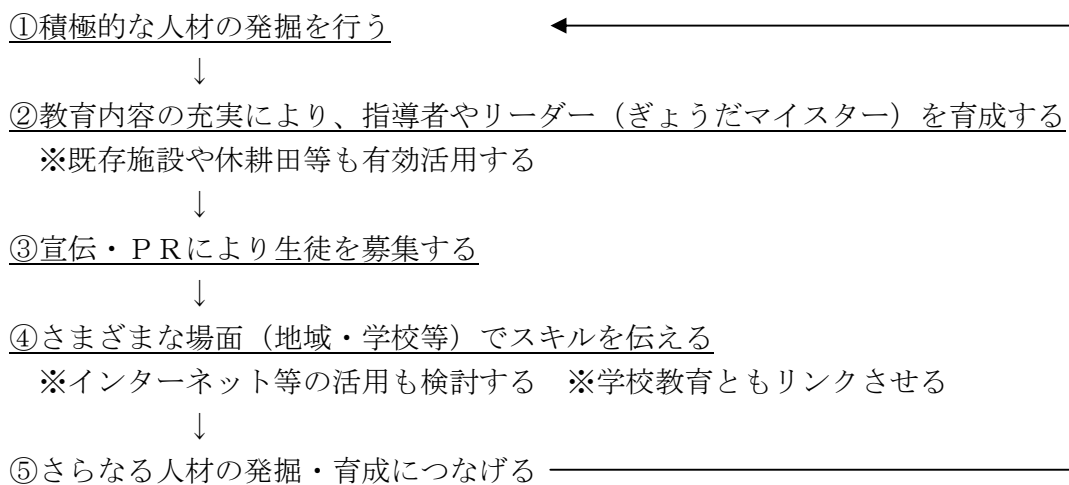
市民の役割	・積極的に参加する
地域の役割	・行田市の歴史・文化、伝統をPRする団体の結成 ・定年後のシルバー世代を各地区で選出し、各施設でボランティア活動をする
行政の役割	・養成講座を定期的で開催する ・他市への視察のバックアップをする ・観光大使制度を積極的・効果的に活用するとともに、市の観光課の機能を強化する ・今回の夢づくり会議のような会議の場を持つ

生涯学習、学校教育、伝統・文化のすべての活動に共通し、相乗効果が高い取り組みとして、以下の2点が挙げられる。

■「ぎょうだ人材バンク」の創設

生涯学習活動の自己啓発や生きがいづくりだけでなく、学校教育における子どもの人間力の育成や文化・伝統活動の活性化など、さまざまな相乗効果が期待されるため、「ぎょうだ人材バンク」の創設を図り、ぎょうだマイスターとしての育成と多方面にわたる人材の活用を提案する。

人材の育成と活用の流れは以下のとおりである。



上記のようなサイクルが活性化することにより、生涯学習や学校教育、歴史・文化の分野に限らず、農業や観光、環境、福祉等の多分野への相乗効果も期待される。

■小説「のぼうの城」の映画化をきっかけとした観光ボランティアの育成

小説「のぼうの城」の映画化が決定し、来年クランクインされることは、市民が行田市の歴史や文化に関心を持つ大きなきっかけとなることが期待される。そのため、映画のエキストラに参加する市民を積極的に募集するとともに、行田市の歴史や文化講座を受講するように促していく。その後は観光ボランティアとして活躍してもらおうといったしくみづくりが重要となる。観光ボランティアの活性化は観光振興だけでなく、フィルムコミッションの誘致等にも効果が期待できる。

4 商工業・農業・観光等の分野について

産業盛んな豊かなまちをつくるために、以下の内容を提言します。

(1) 行田を知ってもらおう！！プロジェクト

【目的】

行田市には様々な観光資源がある。しかし、観光資源が散在していたり、知名度があまり高くないため、「観光都市」というイメージはない。また、市民自体が行田市をあまり知らないという事実もある。

そのため、本プロジェクトでは、まず行田市を市内・市外に知ってもらうことから始めて、最終的に観光客・リピーター・回遊者を増やすことを目指す。

【現状や課題】

- ・観光資源がたくさんある。
- ・行田市ならではの美味しい食べ物がある。
- ・歴史的資源が生かされていない。
- ・観光スポットが散在していて、交通の便が悪い。
- ・観光でまちづくりをしようという市民の意識が低い。
- ・観光のコースや土産品の販売所がわからない。

【協働による取り組みの方向】

①PR活動の充実

市民の観光意識の醸成や観光ボランティアの養成を図るとともに、インターネットやガイドブックなど多様なメディアを活用し、行田市内外へのPR活動を充実する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■一人ひとりが行田市のセールスマンになる <ul style="list-style-type: none">・市民が行田市を知る・知人へ行田市を紹介する・ボランティアスタッフとして参加する
地域の役割	■ボランティアの充実 <ul style="list-style-type: none">・観光ボランティア養成講座の開催・観光ボランティアとしての質を上げる（知識の強化など） ■わかりやすい観光パンフレットの作成 <ul style="list-style-type: none">・質の高いパンフレットの作成・史跡や道のり、グルメガイドが載った手づくりマップの作成

行政の役割	■多様なメディアの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの情報発信を行う ・メディアにおける宣伝を行う（予算に組み込む） ・QRコードを活用する ・映画「のぼうの城」を活用する ・観光会社にPRする
-------	---

②観光拠点の設立

行田市の観光案内だけでなく、特産品・土産物の販売等の機能を有した観光拠点を整備するとともに、市内各地に観光客の利便性や景観に配慮した案内板を整備・充実する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽に利用し、頻度を高める
地域の役割	■特産物・土産物の販売の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所などで特産物や土産物を販売する ・市内の各施設に試食品や見本を置く（置けない場合は、案内板を設置する） ・市の特産品等が常時食べられる食事処を設置する ・朝市、夕市の定期的な開催 ■案内拠点の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・案内拠点の設置（市内4～5か所） ・タッチパネル式で持ち出し可能な案内機を設置する ・案内板の見直しを行う ■既存施設の有効活用
行政の役割	■観光拠点の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所機能の強化（人材・利便性など） ・空き店舗を活用する ・施設の案内板を設置する ・駐車場の拡充 ・イベントスペースの確保と出品の働きかけを行う ■景観のまちづくりの推進

③質の高い観光モデルコースをつくる

交通手段の確保等も念頭に入れた、魅力があり、わかりやすい観光モデルコースを作成する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">■情報提供を行う<ul style="list-style-type: none">・自分が行った観光地の良いところの情報を提供する・コース設定会議に参加し、提案する・観光コースめぐりに参加する・細かい交通の不便さについて情報提供する■資源提供を行う<ul style="list-style-type: none">・不用自転車を観光レンタサイクルとして提供する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">■ボランティアの活用<ul style="list-style-type: none">・観光ボランティアを同乗させ、一緒にルートを回るしくみをつくる・ボランティアを養成する・ボランティアによる清掃活動を行う■観光コース作成の補助を行う<ul style="list-style-type: none">・テーマ別観光マップを作成し、配布する・観光コース作成のための実行委員会を結成する・観光コースに組み込まれた商店、会社等はコースの景観づくりに協力する・各拠点施設を回ってもらえるよう、共通券を作成する■移動手段の充実<ul style="list-style-type: none">・駅、バス停で貸自転車を提供する（レンタサイクルの充実）・相乗り観光タクシーの事業化
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">■観光コースの作成<ul style="list-style-type: none">・市民を巻き込んで観光ルートを作成する・近隣市、県外の旅行会社に働きかけ、バスルートを作成する・体験型のツアーを企画する（農業体験、工場見学など）■交通手段の充実<ul style="list-style-type: none">・循環バスのコースを再検討する・循環バスを観光バス化させて、観光案内を行う・大型駐車場、駐輪場を設置する■市として観光のまち「ぎょうだ」を売り込む<ul style="list-style-type: none">・市をあげて観光誘致を行う・担当課に目標を設定してもらい、職員の意識を上げる

(2) 農業で生きる！！プロジェクト

【目的】

行田市の豊かな自然を生かした農業を推進するため、農業の担い手の確保と育成を推進するとともに、効率的・安定的な農業経営を支援し、専業農家で生きられるようにすることを目指す。

【現状や課題】

- ・ 田んぼが耕地面積の95%を占める。
- ・ 農地がたくさんある。
- ・ 自然災害が少ない。
- ・ 小規模農家が多く、集約化が進まない。
- ・ 従事者の高齢化と後継者不足。
- ・ 生産物を販売するところがない。

【協働による取り組みの方向】

① 農業希望者を増やす

農業に興味がある人に農地と住まいを提供し、農業人口を増やす。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 農地と住まいの提供を行う・ 農機具を提供する・ 高齢者の従事者は、若者に技術を教える
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 就農希望者の募集、選考・ 農業を応援するNPOをつくる・ 農家の若い人を市内の工場で雇い入れる・ 対象者を集めて、勉強会を行う・ 農業研修制度を実施する
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 法令、規則等への対応・ 就農希望者の募集とPRを行う・ 賃金や技術面でのバックアップをする・ 農繁期のずれている農家との人材のレンタル制度

②農業収入をアップさせる

農作物の販売拠点やルートが多様化を図り、農業収入を増加させる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・年間を通して働ける工夫をする・地元野菜を積極的に購入する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・話題性のある直売所を観光地に隣接させてつくる・農作物、お土産の統一ブランドを立ち上げ、メディアへ展開する・朝市を開催する・勉強会を実施する
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">■販売拠点の充実<ul style="list-style-type: none">・販売所を新設する・販売所にできる場所を提供する■生製品の販売ルートの多様化<ul style="list-style-type: none">・宣伝活動をする・生製品の売却に積極的に取り組む・自立的な産地直結の新たな販路を開発する機関の設立・農家個別のコンサルティングを行うチームと協力する・農産物展を行う■米以外の個別農業支援方法を考える

③休耕地の有効利用

休耕地の活用方法について検討し、有効利用できるようにする。

【具体的取り組みの提案】

地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・JAによる賃貸情報の収集と開示を行う
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・市による農地の貸し出し制度の設立と支援を行う・減反政策の田畑の活用を考える（収入につながるものを）

④農業生産品を生かす

農作物の調理方法を周知し、地元農作物の利用方法を充実させる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・たくさんの調理方法を研究する・ボランティアで参加する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・多数の人を集めて、試食会を行う・公民館で野菜づくりサークルを設立し、周囲に関心を持ってもらう

⑤スローライフの推進

地元の良質な農作物がいつでも手に入る体制を整え、地産地消によるスローライフを推進する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 毎日野菜を販売できるようにする・ 行田市で生産されたものを消費する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 素泊まりで各自自炊してもらうような企画を立ち上げる・ 農作業をボランティアで手伝ってもらう・ 野菜直売所「みずほの村市場」のような地産地消可能な店をつくる・ 販売店の場所を探す
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 地産地消を奨励する（一定程度地産地消している飲食店に称号を与える）・ 行田市のホームページにスローライフ体験の募集の案内を載せてもらう・ 公園など市有施設に隣接して、直売所を設置してもらう

5 コミュニティ・市民活動等の分野について

心ふれあうまちをつくるために、以下の内容を提言します。

(1) 人と人がつながるまちづくりプロジェクト

【目的】

個々の人々や地域の活力を生かし、みんなが参加しやすい安心・安全なまちをつくるとともに、孤立する人をつくらないまちを目指す。

【現状や課題】

- ・地域内での活動が活発（清掃活動の参加率が良い、サークル等の活動が盛んなど）。
- ・市民の参加意欲が低い（近所の関わり方の減少や若い人の自治会離れなど）。
- ・マナー、モラルが低い（ゴミ出しなど）。

【協働による取り組みの方向】

①新たな自治会の創設

地域コミュニティの強化のため、市民が加入・参加しやすい自治会づくりを行う。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・外へ出ていく勇気を持つ・自治会等の活動へ積極的、自主的に参加する・近所での声のかけあいをする
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">■加入・参加しやすい自治会のあり方を見直す（自治会役員時）・なるべく多くの人に参加できるように声をかけ、内容を充実する・若い人や転入者の参加を促す・市のイベントに自治会等で参加する■他の自治会からの情報収集を行う■自治会での防災訓練を行う
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・従来の「自治会」という名前ではなく、若い人でも加入しやすい名前にした場合でも、補助金の交付ができるようにする・自治会長などを集めて、他の地区の情報を公開し、意識を向上させる・あいさつ運動週間等の実施・自治会に資金援助を行う（自治会単位での地域活性化事業等）

②同じ趣味や志を持つ人々との交流を深める

同じ趣味や志を持つ人々や世代間での交流を深められるよう、場や機会を充実させるとともに、情報の提供方法も充実させる。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・自ら積極的に情報を収集する・口コミで活動を宣伝する
地域の役割	■交流の場や機会をつくる <ul style="list-style-type: none">・多年層との交流の場の提供・学校側と地域が協力して、学生と交流する機会を継続的につくる・NPOで人が気軽に集まりやすい場の運営やイベントを開催する
行政の役割	■情報の提供 <ul style="list-style-type: none">・NPO、サークルなど、市全体の情報を提供する・体験談などを紹介し、気軽に参加できる体制づくりをする ■交流の場の提供 <ul style="list-style-type: none">・場を提供する

③市民主体の市民行事の開催

多くの市民が参加しやすい体制を整え、市民のまちづくりへの参加意識を向上させるため、市民主体の市民行事を開催する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・市内で行われる市民行事へ積極的に参加する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・多くの市民が参加しやすいようなしくみの創設とPRを行う・他市の成功事例等を参考に、新たな形の市民参加型行事を市に提案する・人が気軽に集まりやすい場を設置する
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・ぎょうだ夢づくり会議を定期的で開催する・市長をはじめ、市議会議員等の積極的な参加を促す・市民祭等への資金援助を行う・観光協会と連携し、多様な方法で参加者を募るようPRする

④商店街を活性化する

名物や特産品等を用いるとともに、ポイント制度の導入等を行い、商店街の活性化を目指す。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	・市民のボランティアと学生と協働で行田名物を考えて、販売する
地域の役割	・特産品を提供する ・市内の商店や公共交通機関等を利用するとポイントが貯まるしくみをつくる
行政の役割	・商店街でしか使えない紙幣かカードを発行する

(2) 観光から始める市民参加型のまちづくり

【目的】

全市民を対象に、観光や祭りの企画運営に携わり参加することで、地域への参加意欲を高める。

【現状や課題】

- ・観光の資源がたくさんある。
- ・市民が市の良いところを知らない。
- ・市民の観光や祭りを盛り上げる意識が低い。
- ・交通手段が不便。
- ・人の集まる場がない。

【協働による取り組みの方向】

①交通手段

市内外の人が行田市の観光地やイベントに参加できるように、多様な交通手段を確保する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none">・自転車などで巡れるコースを探検してみる・市内循環バスに乗って、試してみる
地域の役割	<ul style="list-style-type: none">・自転車をレンタルできる場所を増やす・観光協会と協力して、ツアー循環バスを出す
行政の役割	■循環バスの充実 <ul style="list-style-type: none">・観光スポットを回るバスを増やす・イベント時には、会場までのバスを走らせる・バスの時刻表、ルート案内をわかりやすくする

②観光案内（コース設定）の見直し

市民が積極的に参加し、観光コースの設定やイベントの企画等に携わることができる体制を整備する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	■まずは自分で観光地を回ってみる <ul style="list-style-type: none">・観光地や散策コースを自転車やバスを利用して回り、利便性を体験する ■観光ボランティアに参加する <ul style="list-style-type: none">・多くの市民が観光ボランティアに参加する
-------	--

地域の役割	<p>■観光案内を充実する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドマップが置いてある店の人は、観光コース等を説明できるようにする ・ボランティアによる観光案内を行う <p>■市民企画型のイベントを充実する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民祭りの際に、各自治会で催し物を出す ・若い人がイベントに参加できるような企画を考える ・イベントや市民祭りなどでボランティアや市民からの参加者を募り、企画、運営を任せる
行政の役割	<p>■イベントを「育てる」！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散しているイベントを拡大して、一大イベントとして市民の参加を呼びかける ・火祭り（地区祭り）を市の大々的な祭りとして育てる ・ボランティアや参加者を常に呼びかける <p>■観光コースの再編と周知啓発を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、動画などでわかりやすく情報を発信する ・観光コースのパンフレットをつくる ・観光コースにイベントなどを盛り込み、子どもから高齢者まで楽しめるものにする ・史跡や蔵などが多いので、子どもたちに昔の行田を知ってもらうための勉強会をする ・ベンチや案内板を設置する ・観光だけのバスルートをつくる

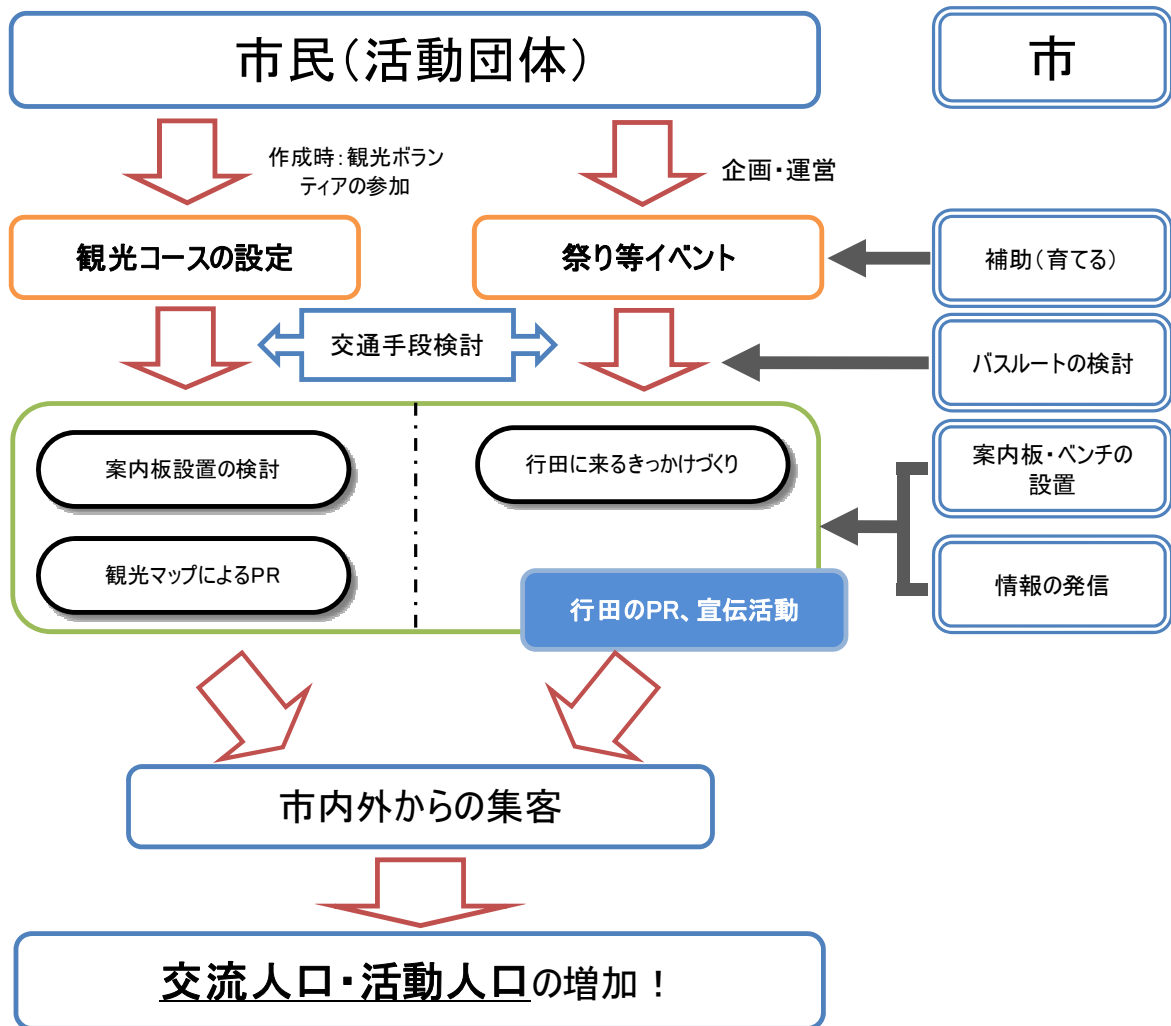
③観光PR（宣伝・広告活動）の充実と案内板の作成

市民と行政が協力し、多様なPR活動を展開する。

【具体的取り組みの提案】

市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・看板をつくる際に、アイデアを出す ・市民がイベントや祭りに参加することで、情報を内外に発信する
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアを活用し、講習会などを積極的に開催し、市民参加を促進する ・市内商店に観光マップを置いて、観光PRをしてもらう
行政の役割	<p>■多様なPR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページ内に観光案内の写真付きの紹介リンクをつくる ・掲示板等のSNS（Social Network Service）を利用する ・観光大使を公募して、イベントなどでPRしてもらう ・商店街の理解を得るよう話し合いをする ・市民祭りに若い人も参加できるように、コンテストなどを開催する

■観光からはじめる市民参加型のまちづくり 取り組みイメージ図



ぎょうだ夢づくり会議参加者名簿

グループ	氏名	テーマ内容
A	<p>阿部 忍</p> <p>○ 金子 太亮</p> <p>唐澤 俊子</p> <p>川辺さと子</p> <p>小山 春代</p> <p>指原 明子</p> <p>野口 万葉</p> <p>原島 善市</p> <p>前島 伸行</p> <p>森下 敦</p> <p>山本 爾子</p>	<p>快適で住みよいまちをつくるために</p> <p>(まちづくり・環境等)</p>
B	<p>加藤 圭子</p> <p>金田 道子</p> <p>○ 小林 清孝</p> <p>高橋シゲヨ</p> <p>根岸千賀子</p> <p>萩原 弘一</p> <p>橋本喜美江</p> <p>橋本 静江</p> <p>福嶋 進</p> <p>福島 範子</p>	<p>健康で幸せなまちをつくるために</p> <p>(福祉・保健等)</p>
C	<p>池田 旭</p> <p>大嶋 勝治</p> <p>柿沼 暁央</p> <p>○ 小松健二郎</p> <p>坂詰 隆</p> <p>高田 淳夫</p> <p>高橋 和代</p> <p>高橋 公二</p> <p>根岸 亜矢</p> <p>福鳶 正寛</p> <p>松本 潔</p> <p>宮田 淑尚</p> <p>吉井 和枝</p>	<p>教育の充実と文化を育てるまちをつくるために</p> <p>(教育・生涯学習・文化活動等)</p>

グループ	氏 名	テーマ内容
D	浅井 慶司 新井 清介 伊藤 幸夫 岩田樹一良 榎本 稔 奥貫 勝彦 斉藤貴美子 清水 清人 中島美代子 中村 一雄 橋本 光江 福田 秋夫 ○ 真々田健児	産業盛んな豊かなまちをつくるために (商工業・農業・観光等)
E	今井サカイ 斎藤 和夫 坂田 久枝 ○ 澤田 春雄 戸塚 法子 永野 幸子 中村 明美 樫 輝子 橋本 知子 松田喜美子 峯 弘幸 吉田 兼弘	心ふれあうまちをつくるために (コミュニティ・市民活動等)

(○はグループリーダー)

(敬称略)

資料編

1 第1回会議について

(1) 第1回会議の概要

第1回会議は、9月6日（日）の13時30分～16時00分にかけて実施され、55名の方が参加されました。

まず、行田市長から開会のあいさつがあり、その後、約80分間のオリエンテーションを実施しました。オリエンテーションは2部構成で実施し、第1部は全体で行い、会議の目的・全5回及び本日のプログラム説明や総合振興計画、行田市の全体状況の説明を行いました。

第2部はグループごとに分かれて行き、各分野の部長より、各グループの関連分野の状況について、説明されました。

そのうち、5分間の休憩を挟んで、自己紹介をしてもらいました。今回の市民会議は、プランクスツェレ[※]の手法を用いて、住民基本台帳より無作為抽出によってメンバーが選定されているため、初対面の参加者が多く、A4用紙を用いながら、名前・居住地・会議に参加した動機や行田市の自慢できるところについて、発表していただきました。そして、各グループでリーダーを決めていただきました。最後に、また全体で集合していただき、市より第2回目の説明と事務連絡があり、16時00分に終了となりました。

■プランクスツェレとは？

プランクスツェレは、1970年代にドイツで、ヴパタール大学名誉教授のペーター・C・ディーネル氏によって考案された、『話し合い』を中心とした市民参加の手法です。

この手法の最大の特徴は、今までの公募による市民会議と違い、対象地域に住む18歳以上の市民の中から、「無作為抽出」により会議の参加者を募り、限られた期間、有償で、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組むことです。



(2) 第1回会議の当日プログラム

あいさつ (5分) 13:30~13:35	ぎょうだ夢づくり会議の始まりです! ぎょうだ夢づくり会議のはじまりのあいさつです。
オリエンテーション① (35分) 13:35~14:10	会議の目的や行田市のことについて学びましょう! ①資料に基づいて、全5回にわたって行われる会議の目的や全体の流れなどの説明を行います。 ②総合振興計画や行田市の全体の状況の説明を行います。
オリエンテーション② (50分) 14:10~15:00	行田市のことについて、さらに深く学びましょう! ①各グループにわかれていただきます。 ②これから話し合ってください分野について、レクチャーを受けていただきます。
休 憩(10分間)	
自己紹介 (40分) 15:10~15:50	自己紹介をして、親睦を深めていきましょう! ①初めての方も多いと思いますので、自己紹介(名前や仕事内容などを自由に)をして親睦を深めましょう。 ②それぞれのグループの中でリーダーを決めていただきます。
次回の予告 (5分) 15:50~15:55	次回は、まちの強み・弱みについて考えましょう。 第2回目の会議の内容を説明します。
閉会のあいさつ (5分) 15:55~16:00	皆さんお疲れ様でした。 本日は皆さんお疲れ様でした。気をつけてお帰りください。

2 第2回会議について

(1) 第2回会議の概要

第2回の会議は、9月13日（日）の13時30分～16時00分にかけて実施され、当日は58名の方が参加されました。

今回の会議は、「まちの強み・弱みを洗い出そう！」というテーマで実施し、まちにある資源や課題などを洗い出し、まちの状況を再確認しました。

まず、オリエンテーションとして、ワークショップの約束事や本日の内容など、20分程度の説明を行いました。

そして、各グループに分かれて、約80分間のワークショップを行いました。本日から参加された方は、はじめに自己紹介をしてもらいました。また、ワークショップでは、2色のフセンを使い、一方にはまちの強み（良いところ）、もう一方にはまちの弱み（悪いところ）を書いていただきました。それから、一人ずつ発表し合いながら、模造紙に貼っていただきました。全員の意見が出揃ったら、似た意見同士を集め、グループ分けを行っていただきました。重要だと思う意見には、緑のシールを貼ってもらいました（1人7枚まで）。

各グループからは様々な意見が出されましたが、どのグループもまちの強みよりも、弱みの意見が多く見られました。

予定では中間発表を行うことになっていましたが、ワークショップが白熱し、終了時間を超えて話し合うグループも出てきたことから、グループごとにファシリテーターが次回の予告を行い、終了となりました。

■ 当日使用した資料

【アイデアシート①】 行田市の強み・弱みについて考えてみてください！！		
共通するテーマ	まちの強み「いいところ(好きなおところ)」	まちの弱み「悪いところ(嫌いなおところ)」
観光の振興について	「観光の振興について」 「観光の振興について」	「観光振興」 「観光振興」

※このシートは事前に参加者が用意するものシートであり、印刷はしません。



■ワークショップについて

(1) ワークショップとは

ワークショップは、先生や講師から一方的に話を聞く会議ではなく、参加者が主体的に議論に参加したり、言葉だけでなくからだやこころを使って体験したり、相互に刺激し合い、学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

(2) ワークショップのポイント

●主体的な参加

参加者が自由に意見を言える雰囲気づくり、地域に合わせたテーマ設定などを行うことにより、主体的な参加を促します。参加者が自ら参加し考えることで、眠っていた感性を引き出すことができます。

●お互いに学びあう

参加者それぞれが持っている、感性、知識、情報、体験などを交換、共有し、一緒にグループ活動などを行うことを通じて、学びあうことが大切です。いろいろな人と出会うことによって、さまざまな考え方があることに気づくことができます。

●プロセスの重視

急いで結果を出すことはそれほど重要ではありません。話し合いを重ねる中で、様々な考えや意見をまとめることの楽しさや難しさを感じます。その過程で、相手との信頼関係や助け合うことの大切さを知ることができます。

(3) ワークショップの進行は…

ワークショップの進行は、グループごとにスタッフが入ります。また、チームの代表として、各チームごとにリーダーを決めていただきます。

(4) ワークショップに入る前の確認事項

●ワークショップは、限られた時間内で行います。そのためより多くの人の意見が出るよう、また聞くことができるように配慮してください。**ひとりで話を独占してしまう、また、一言もしゃべらなかつたということがないようにご協力をお願い致します。**

●ワークショップは討論会ではありません。**出された意見の批判はしないでください。**意見については、どのような背景があってそのような意見になっているのか、発言者の立場になって考えてみるという事が大切です。

■第2回ワークショップの流れについて

①意見をフセンに書きましょう！

- まちの強み（いいところ、好きなどころ）、弱み（悪いところ、嫌いなどころ）などをフセンに書いてみましょう！



【注意点！】

※必ず1枚のフセンに1つの意見のみ記入してください。

※なるべく具体的に記入してください。

■まちの強み（例）

フライやゼリーフライといったB級グルメのお店が市内に多くある

②書いた意見を発表しましょう！

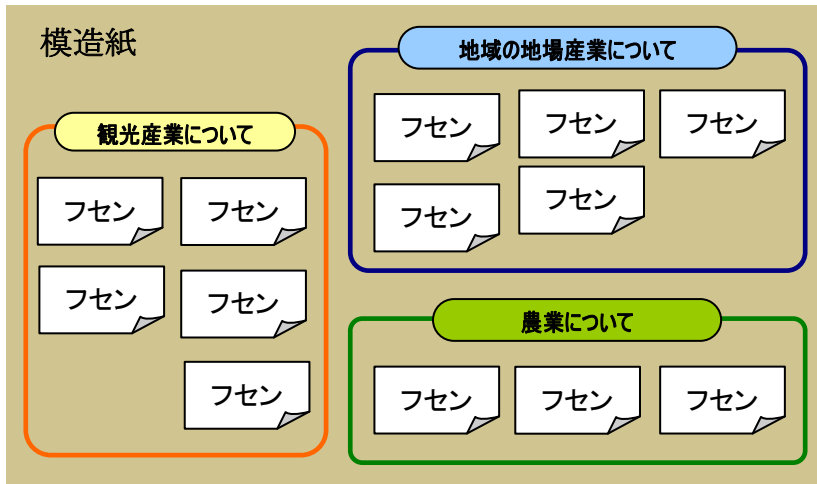
- フセンに意見を書いたら、発表し合ひましょう。



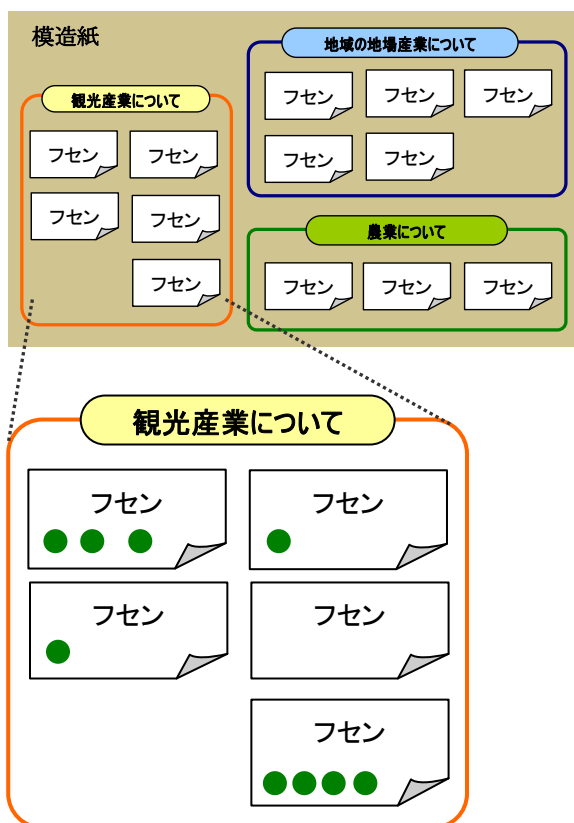
【注意点！】※発表された意見を否定せず、周りの人はよく聞いてあげてください！

③フセンを模造紙に貼りましょう！

- 一人ずつ発表しながらフセンを模造紙に貼っていきましょう。
 - テーマごとにフセンを整理・分担してみましょ。
- ※余裕があれば、分かりやすいようにさらに細かく分類してみましょ。



④個別の意見で重要な（共感の持てる）ものにどのようなものがあるか、考えてみましょ！



- 出し合った意見（フセン）一つ一つの中で、自分自身が共感の持てるものに●（緑のシール）を貼っていきましょう。
- ※シールは1人7枚用意してありますが、7つない場合は共感できる分だけで構いません。
- ※また、同じ意見に複数貼るのではなく、**1つの意見につき1枚まで**としてください。
- また、シールを貼るだけでなく、共感できる理由などについて意見交換しながら作業を進めましょ。



(2) 第2回会議の当日プログラム

あいさつ

(5分)

13:30~13:35

ぎょうだ夢づくり会議の始まりです！

ぎょうだ夢づくり会議のはじまりのあいさつです。

オリエンテーション

(20分)

13:35~13:55

これから行うワークショップの説明をします！

資料に基づいて、本日のワークショップの説明を行います。

ワークショップ

(80分)

13:55~15:15

まちの強み・弱みを話し合しましょう！

進行は、ファシリテーターが行います。

- ①はじめに、自分自身が日頃から感じている行田市の魅力や課題をグループのテーマごとにフセン紙に書き込みましょう。
- ②フセンに意見を書いたら、発表し合い模造紙に貼り出しましょう。
- ③似たもの同士のフセンを整理分類しましょう。
- ④グループ分けしたものに共通する表題を考えましょう。

休 憩(10分間)

中間発表

(25分)

15:25~15:50

グループごとに、途中経過を発表しましょう！

本日は話し合われた内容について、グループごとに発表し合しましょう。
(1グループ約5分)

次回の予告

(5分)

15:50~15:55

次回は、協働のアイデアについて考えましょう。

第3回目の会議の内容を説明します。

閉会のあいさつ

(5分)

15:55~16:00

皆さんお疲れ様でした。

本日は皆さんお疲れ様でした。気をつけてお帰りください。

(3) 第2回会議の模造紙まとめ

A班

良いところ

道路整備②

坂が少ないので生活しやすい

道路整備について市街地、車道、歩道の整備がされている

道路と歩道の整備がされて安全である

自然環境⑦

田んぼが多く、風景が魅力的

田植の済んだ時緑のジュタンを敷きつめた様な田園風景

緑や川が多い

桜がきれい

景観が良い
さきたま古墳等

環境について
田園、公園、古墳
古代遺等自然が多い

街路樹が多いので、
季節によって楽しめる

風水路…田植の頃は
清流がいたる所に見られ、
水の流れが気持ちよさしく
できるので好きです

自然が多いので空気が
キレイ

公園環境⑦

埼玉古墳群や古代遺などの歴史あるところがある

埼玉古墳群はこの辺では自慢出来ると思う

魅力的な公園が多い
・古代遺の里
・埼玉古墳公園など

水城公園、さきたま古墳公園、古代遺の里、総合公園など大きな公園が身近にある

水城公園の四季おりおりの花はきれいでとても良く美しい

大きい公園にみどりが多い

公園が多く住みやすい

大きな公園があり、自然とふれあうことができる

下水道整備②

上下水道の整備が進んだ事

ポンプ場の関係で町内下水道完備

防災環境

山、海はないが、災害が少なく助かる

災害が少ない

災害が少ない

災害が少ない

自主防衛隊の補助

防犯環境③

防犯
夜中の巡回でポストに巡回カードが入っているの、定期的に巡回してもらっている事がわかる

街路燈への補助金

市民参加環境①

小学校のボランティアによる送迎

子供対象の Hip Hop の教室がグリーンアリーナにいくつかあり、安価な値段で習うことができる

※テーマやふせんの横の数字は、シールの数です。
※色がついているふせんは、悪いところ(弱み)です。

ゴミ環境⑥

ゴミ回収は3~5回と多い方ではないかと思う
分類回収もされている

スーパーのリサイクルステーションは資源物をいつでも捨てられて便利で買物のついでに利用しやすい

燃えるゴミの収集が月~金まで毎日ある

粗大ゴミ無料

生ゴミ回収が平日毎日あるので助かります

可燃物の毎日の収集をする

毎日のようにゴミが出せるので便利

町並環境⑤

各商店とも店の作りや遊歩道の景観が昔の行田を生かした景観に統一されているため、観光資源にもなっている

市内商店街は名物や小物、食品まで一通り歩けばそろそろ

商店街の電柱が地下にうまっている

行田駅前が整備された事

A班

悪いところ①

市街地整備②

秩父線中心の街造りのため、時代に合わなくなってきた車の客もよべる街造りを!

JRの駅の方が秩父線よりも行く人が多いのではないかと秩父線中心の街づくりはどうなのか

景観③

街路樹もっと増やしたほうがいい

街路樹が少ない

田んぼでも畑でもないところが多く、そこに雑草がはえてもそのままになっているところがある。地球温暖化を防ぐためにも何もしていないところには木を植えてくれないようにしたらどうか?

農地放棄の土地が増えている

水路、田んぼ全て雑草におおわれて、ゴミも散乱している所

雑草が景観を悪くしている。観光地とされている場所だけでなく近くも除草、ゴミ、駐車車両をなくしてほしい

森が少ない

忍川の中に柳の木がはえているのですが、大きくなってゴミ等つかえている。特に雨降って増水した時、困ります

忍川の草取りの事で毎年刈る(業者)のですが、川のを1m~2m残して、特にヨシ等が刈ってなく、そのままなので、もっときれいに刈ってほしい

交通環境④

公共施設をあちこちに作らず、一つ(場所)に作られたら助かる。特にやすぎの里など、高齢者になると車に乗れなくなるので行けないのでは

駐輪場が少し遠い

駅へ行くバスの本数が少ない

古墳群などへの交通が不便
せっかくそういった観光できる場所があるのだから、もっとアピールしてほしいと思う

巡回バス
以前は無料だったのに有料になった

巡回バス
利用者の数が少ないのは利用しにくい理由があるのでは?

交通手段(バス)の本数、場所の不便さ(JRの時間に合わせてほしい)

公園に行くのに交通の便が悪い

車社会に対応できていない

ゴミ環境⑦

ゴミ出しマナーが悪い
ポイ捨てが多い
落ちていても気にしない人が多い
減らす工夫がされない

燃えないゴミの収集が週に1回しかなく少ない。
臭いが出てしまう

燃えるゴミの収集が週に5回(平日毎日)する必要がないのでは?

ゴミ処理組合の見直し

ペットボトルの行政の回収なし
スーパーか不燃物へ

資源物(紙、ダンボール、布など)収集が月に1回と少ない

星宮公民館のそばにある。ゴミの山が気にかかる。そばに外国人の車修理工事場があり、通学路に面しており、又、夜も暗いので撤去してもらいたい

小針センター近くの環境測定の公表

ペットボトル等の別回収を進めた方がよいのでは

ゴミ処理(ゴミ袋)の有料化が遅れている

田畑が済むと水の流れが無くなり、用水路の中が空カン、ペットボトル、その他のゴミが投げ込まれている。

燃えるゴミの収集が毎日あるのはありがたい(特に夏)が、1日おきでもいいのではないかと?
燃えないゴミの収集が週1回なので、それを増やしてはどうか

生ゴミの回収場所にネットがかかっています、カラスの害

毎日ゴミを捨てられるため、ゴミを減らす工夫をしていない。便利だが、ゴミの再利用やCO₂削減、焼却コスト削減につながっていない

年間を通じて街路樹の下が雑草とゴミで嫌である

マナー⑥

ゴミ出しのマナーの悪さ

公園歩きタバコなどの喫煙マナーが悪い

犬の散歩のマナーの悪さ
フンの始末

深夜の公園の騒音が多い
(中高生の夜遊び)

川のへりにゴミのポイ捨てが多い
犬のフンも片付けないので多い

公園などにゴミ箱が少ない

駐輪場が汚い

道路整備④

車の通りが多いのにクネクネしてすれ違いうのに危ない道がある

大きな道以外(細道など)に灯りが少ない

狭い道があり安全に歩けない

道路の損傷について穴だらけうめるので、すぐに元に戻ってしまう

歩道が狭く、子供と一緒に通ると車が通過する度に恐がる

郊外は未整備地区が多く、悪天候時に困る危険を伴う狭い道も多く不安である

防災登への決算が多い

家の近所の外灯が少なく、学生(中学生)が部活で遅くなるので、心配である

A班

悪いところ②

災害②

災害に対する意識が少ない

防災避難地の安全性と整備

交通ルール①

お店の飲酒運転に対する対策が薄いと感じる

昼間、飲食店でお酒を飲んで車で帰る人を見かける事があり、意識の低さが心配になる

運転中、携帯TELしている人が多い

公園⑤

水とふれあう公園がない

小さい公園ではなく、水城公園のような大きい公園をつかってほしい(犬なども一緒に入れる)

グリーンアリーナアリーナ前は広くて浅い水場があるが、そこを子供達の夏の間の水遊び場にならないか

総合公園管理棟の前に水の流れている川みたい物があるが、そこもきれいなら水遊びができると思う

その他⑤

総合公園プールの利用額が高い

総合公園桜の木に毛虫が沢山いるので、下を通るのが怖い

駅の交番に人がいないことが多い

やすらぎの里の利用時間は夜9時までと聞いたが、その時間まであけなくていいのでは。経費のムダです

電柱にピンクの紙でTEL番号のチラシが何枚も貼ってあるのですが、非常に醜い(特に125号ハイバスは目立ちます)

病院の過疎化

須加河川敷の整備

観光のアピールを上手にした方がいい(忍城、古代はす、タワー、さきたま古墳)
(ゼリーフライ、いかまんじゅう等B級グルメ)

箱物はいらない運動場等の整備を、タワー、城の管理費の負担

市の源政廳について収入源になりそうな事があるのに、努力していないと思う

B班

環境

商・工・農の産業がすべてできる街

緑があり安らげる
・水城公園
・アリーナ
・埼玉古墳

子供に有害な施設が少ない

自然がたくさん残っていて環境がよい

ゴミの収集日が良く便利①

人口が増えない(少ない)

緑道(ジョギング) (歩く) 出来る

地区によって生ゴミの収集日が少ない。和田地区 週3回①

運動することで皆とコミュニケーションがとれる

子供や高齢者が集える場所が少ない①

公園に健康器具を備えつける②

公園の草取りも年をとると辛くなる

立派な施設があり、娯楽が楽しめる(みらい、産文)

交通

都内にも通勤可能

養護学校の生徒が市駅～緑町まで歩いていきます。福祉バスの本数、時間の再検討を希望①

交通網の充実バリアフリー②

土地が平坦移動の利便性

J R 行田駅前 40年前より変化なく、行田市の発展性を感じない①

車が運転できないと不便①

古代運へのシャトルバス
人に多く行田に来てもらうためには、J R 行田駅を玄関にした方がよい①

・道路がせまい
・便が悪い
・車がないと困る①

機能訓練の場所が遠い(やすらぎの里) 交通不便

老人施設(やすらぎの里)等、市の端にあり交通が不便で利用できない①

制度

子供手当等、充実している

色々なサービスなど周知がまだ足りない②

高齢者の福祉やサービス、医療等が行き届いていると思う

窓口広報

要支援1～介護5までをケアマネジャー、主治医の意見書等で判断することはとても良い事と思う①

高齢者の一人当たりの医療費が県内でも高い

家で生活するための介護の事業者が多い

介護や者病のため仕事を休むことが難しい①

家での生活のための介護の事業者が多い

小、中、高、大人の福祉も充実を

デイサービスの人がとっても親切です

実際には家事、買物、旅行までしているのに、要支援に認定されデイサービスを利用している人、反対に手足が不自由で買物も近所の方がなさっている人、もちろん認定なし、この方途に疑問を感じます①

行田市のデイサービスは他の市より数多く充実している

介護施設が満員でなかなか入所できない①

利用金額が高くて年金生活では施設の入所は難しい

医療

病院や医院などが増えつつある安心感がある

小児科、産婦人科が少ない

開業医がたくさんあって、医者に行きやすい

確かな公立病院がない

待ち時間がとにかく長い。具合悪くて、医者に行くのに待つだけで疲れてしまう

意識

前向きに生き、何か1つでもいいから趣味を持つ。人との関わりを持つ①

健康への意識がまだまだ低い①

自分らしく自分にしてほしいものはしない

認知症や障害者などについての理解がまだ低い①

子供が少ないのは、今の若い人達の独身主義が問題。市が積極的に婚活運動に力を入れてみては①

地域

市内の地域間の格差(経済的、環境)が大きい①

地域のコミュニティが健在①

核家族化が進んでいる

高齢者が活躍できる場所(機会)がたくさんある②

3世代に住む家がまだたくさんある①

元気な高齢者がたくさん住んでいる

子供の非行が少ない

長寿の人が多い

民生委員

民生委員が地区の人では嫌①

民生委員の質

自治会長や民生委員のなり手がいない順番が多くなっている①

民生委員⇄プライバシー対立問題②

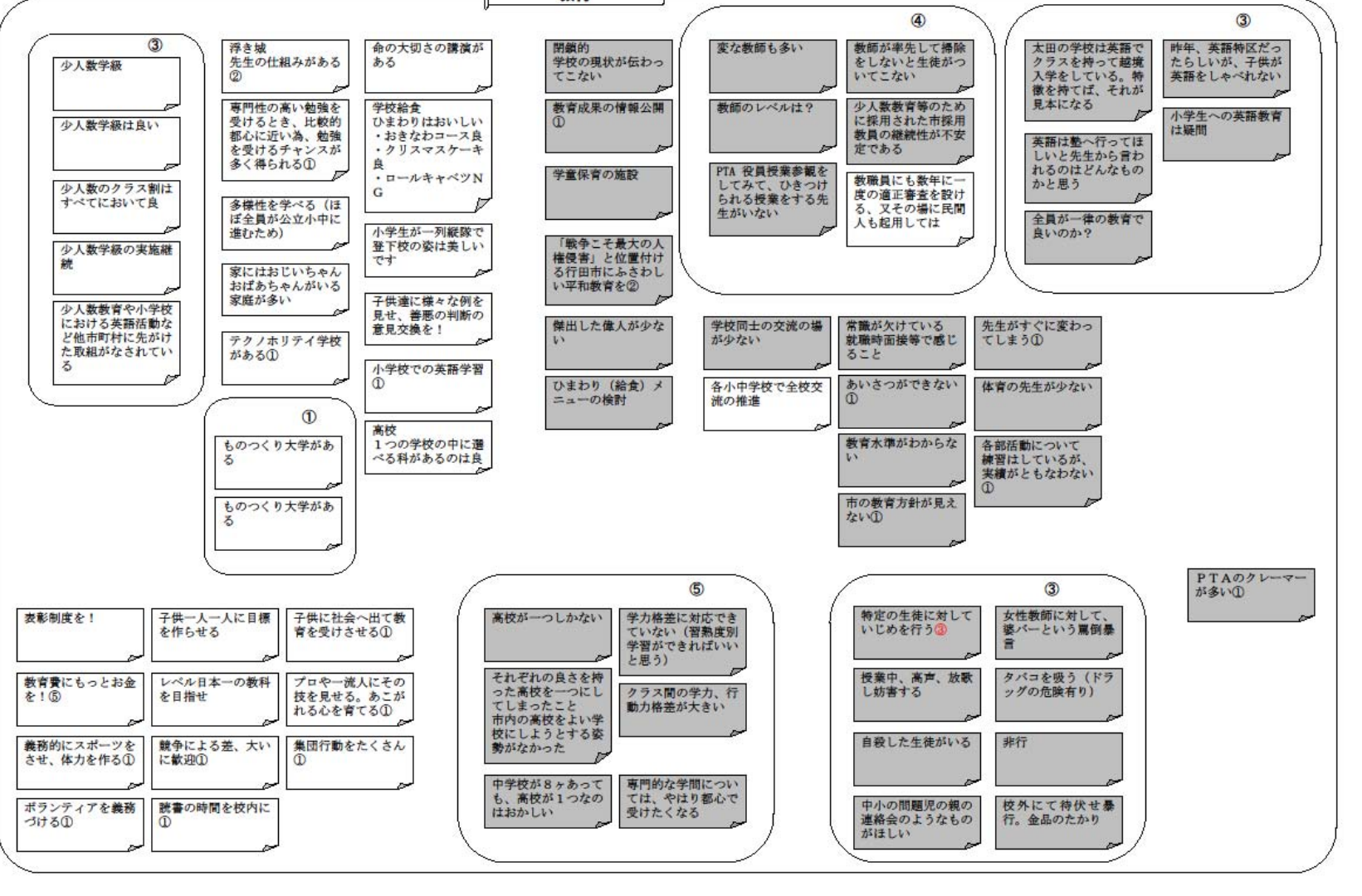
地域と制度両方に関係する意見

その他

市内での就職は難しい

C班1

教育



C班2

生涯学習

施設について

教育学習センター「みらい」

幼児から高齢者まで幅広く活動する内容には良

行田市市民大学①

高齢者のシルバー人材を活かした生涯教育が出来るのではないのでしょうか①

生涯学習の場として学校の教室を利用したい①

一般の農家の方々に多くの知識が眠っている

農業に強い①

施設について

公民館や活動する施設が少ない
曜日や時間が重なる

美術館が欲しい

生涯学習をして
・地域のコーチ、講師を招いて
・子供～大人まですべてが参加できるプログラムを一元化して運用して①

教育は子供が受けるものとは限らないので、若者と先輩の方の積極的な工夫が必要だと思う①

市の教育（子供生涯共に）総合プログラム無、プール等入りづらい

長寿の食事教育がほしい

生涯学習が講座学習がクラブ化移行に付、講師料の問題。是正をう

人間性が保守的鎖国的で外部との接点に於いて行田中心にしたがる

農業の後継者が少ない

文化、伝統

郷土博物館がある

埼玉古墳群、古代運は行田市の目玉であることは確かだが②

武蔵水路がある

足袋蔵がある

水城公園はさくらが有ってきれい

産業文化会館みらいホールの存在

「埼玉古墳群」や「忍城址」など今後の学習や活動等に活用可能な豊富な歴史資源がある

利根大堰始め水路が多く水がきれい

火祭り

忍城がある

文化財のPRを工夫してもっと社会に広めましょう①

埼玉古墳群がある

水田の自然風景の美

教育の伝統
忍藩の進修館

習字が活発

古い文化と歴史

古墳や鉄剣

緑（自然）が多い

ゼリーフライ・フライ
B級グルメでテレビに出て、地元として嬉しい

街に歓楽街が少なく、勉強するには良い環境だと思う

古墳が世界遺産になってほしい

県内有数の田圃穀倉地帯。みのりの秋の黄金の波の美しさ。稲作はまさに農耕文化、食文化の中心

造り酒屋がある

隣接熊谷市の「熊谷会館」「さくらめいと」に比べ、催事回数、内容等ははるかに劣る

埼玉古墳群の世界遺産登録は無理ではないか、今後予算上を続けるのか、展望はあるのか

市民の芸術鑑賞への関心が薄い

農民の耕作意欲をそぐような農政→後継者不足へ

伝統文化の継承①

PR不足

歴史資源等の調査や研究が中途段階であり、歴史的・文化的価値が確立されていない

美術方面に弱い⑤

C班3

スポーツ・レク

グリーンアリーナでサッカー、プール、野球、ジョギングができて良い	鉄剣マラソン、地域マラソン大会が有ってうれしい	自転車道さきたまーこのす良い①	体育祭ではない各スポーツ大会を運用してほしい
総合体育施設グリーンアリーナなど充実した施設が整備されている	市内マラソンだけでなく、町対抗、市対抗レベルに①	運動会での荒木一番を学べ①	スポーツ・レクリエーション施設までのアクセスや立地条件などの問題から、利用者数の伸び悩みや利用者の偏りが見られる①
小学生スポーツ大会・一輪車大会・なわとび大会が良い。でもチーム作りが難しい	子供がサッカーチームの練習で骨を折った時の保険が助かった	小学生のサッカーチーム、組織、コーチがしっかりしている中央キャッスル強い	シニアスポーツの施設が少ない①
	行田市だけでなく、まわりの市を巻き込んだ競争を		利根大堰でウィンドサーフィンができる資源があるのに有効に利用していない

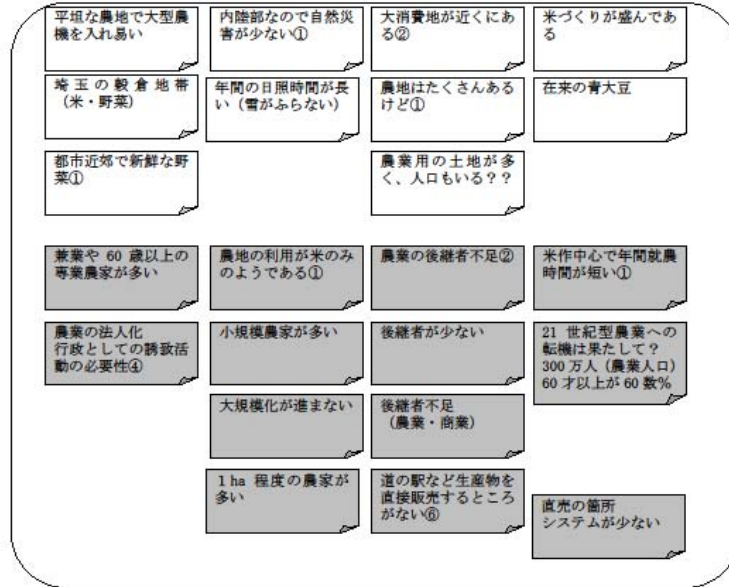
その他

水量を生かせないか？	大人になると治安が良い	「埼玉古墳公園」「古代運の里公園」「教育文化センターみらい」など市内各所に市民活動の核となる豊富な拠点が存在する	市庁舎に活気がない①	教育重点施策が絶花的で重点が明確でない①	日本の地方はすべてだが、レストランが少ない①	利根大堰の風車公園は草だらけ。地域公園としてわかるが、必要だったのか？①	シャッター通りで元気がない	市内各所に充実した拠点があるが、各個に孤立しており、拠点同士のメリットを活かした相乗効果が発揮されていない
日光が多い	事件、事故、災害が少ない①	自然災害の少ないこと①	地域にあっては鉄合が暗黙に公認①	事件があったときだけ通学路の付き添いがあるが、すぐ少なくなってしまう	足袋の体験工房がない	道路の雑草多い羽生の境で羽生側はきれい	市内の活気が伝わらず	道の駅がない①
豊かな緑	自然災害の少ないこと①	バイパスの広さをゾーラーに！	環境対策が見えない	浮き城のまちの意味を知らない市民がいる	郷土料理の店がない①	通学路が危険である。歩道が整備されていない	古代運のシーズンを通年に	城壁をかたどった建物？
運文化を研究している人がある	緻密で慎重な人柄	都心に割と近い	市はとりあえず市民の意見を聞け①	忍城甲斐姫の大河ドラマに	地ビールを増やしてほしい	地域によってインフラに差がある	耐震補強工事万補除去工事	自転車道が身近にない①
市民の意見だけでなく、他市、学者、第3者の意見も！	空き店舗の利用を若い芸術家に発表の場を提供したい	フラットな土地で買物に便利	保守的で外部の接触がない②	郷土の伝統のまつり七夕まつり初午まつり	買物、食事 etc 市外へ流れている①	駅の場所が不便	そんなに緑が多いとは思えない	
市内のアーケードのシャッターにアートを描いたらどうでしょう？	スーパーが多い	はたるの里をつくるグループがある			行田産の農産品の無農薬化による差別を図る	市内の駐車場が少ない		

D班

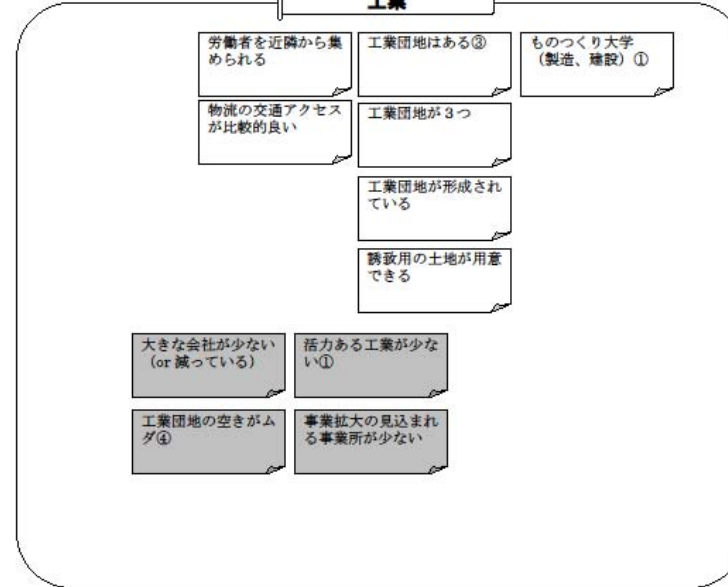
第一次産業

農業

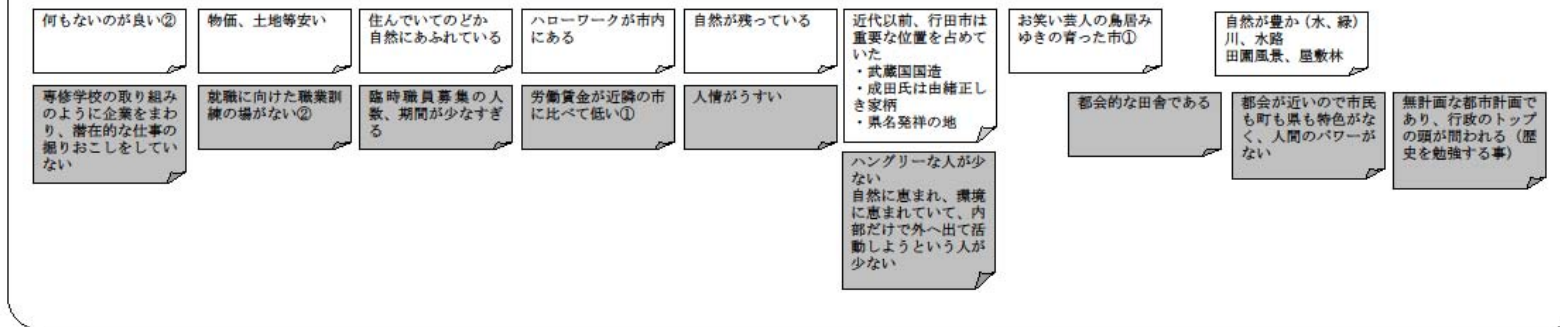


第二次産業

工業



共通 その他



D班

第三次産業

商業

親しくなると何でも相談できる (家族的な雰囲気)

物価が安い

アフターサービスが優良

集客ある商業施設が少ない②

空き店舗が多い

近隣の市に比べて商業施設が弱い

商店街の活性化は前途多難 夜8時になるとゴースト・タウン (多くの地方都市がそうであるが)

中に入ると買わずに出られない雰囲気がある

進む企業の撤退、空洞化、魅力ある企業・事業所の進出

併用住宅

全体に活気がない

ただ見学するだけでなく、おみやげなどのショッピングや散策できる店がない①

品揃えが少ない①

市内の道路が狭く、店の前に駐車出来ない②

店ごとの特徴が分からない 商品、価格などアピールが下手

町中の商店街が買物しにくい

フライ・ゼリーフライ店の駐車場がない (少ない)

観光

歴史資源が豊富である (古代遺、小崎沼、万葉、埼玉古墳群、忍城址など) ③

静かな町

丸墓山古墳について 頂上ではすばらしい展望、あちこちに広がる田んぼ、畑、遠くに見える秩父連峰、東の方には古代遺の里と、行田に命をあずけてとても幸福に感じます①

歴史のある町

私の地区では桜の木が多くあり、公園になっていて、皆がお茶など持って行って、子供連れからお年寄りなどで、日曜日など賑わっています①

観光資源は有ると思う

観光資源 埼玉県内唯一の忍城がある②

さきたま古墳、古代遺の里、忍城址など、歴史資源が豊富。足袋蔵 (古代、中世、近世)

第二の川越 歴史的な観光資源は多い

歴史の中で有名な忍城がある

歴史的確造物が中心市街地に存在

子供の遠足で一度に大勢来てくれる

町の中心に水城公園がある

蔵がたくさんある②

行田市ならではの店がある (十万石、まるしんラーメン) ②

東まで回れば家族で来てでも低予算で楽しめる①

安く美味しい店 (隠れた名店) がある

秩父鉄道が中心部を横断して走っている

行田市ならではの特産品がある 奈良漬、フライ・ゼリーフライ、やきそばなど①

(素材) 大豆を使った様な手軽な食べ物

フライ・ゼリーフライ食文化

B級グルメ店 駐車場の整備されている店が少ない①

観光資源の活用は良いとは言えない①

歴史資源を活かされていない①

観光資源は「箱もの」であり、人物像 (ヒーロー) の焦点にあてた発想の横展開がない

道の駅がない①

交通の便が悪い 駅～拠点 拠点同士⑤

フライ・ゼリーフライのリピーターの少なさ 主食となり得るものの開発がない②

行田の観光資源に魅力を感じる年齢層が年配に偏っている

古墳について、東西南北が解らない。立札をしっかり立てて欲しい それから東側の駐車場が整備されていないので、しっかり舗装して欲しい①

観光客の出入はあるが、それがお金として地元へ落ちていない②

市の物産販売所が分散している

観光地として交通設備がイマイチ

B級グルメは万人受けしない (一時のブームで終わり) ②

観光スポットが地味で (緑地公園レベル) なので収益が望めない

文化施設が備わっていない

効果的な観光コースがない②

各スポットが離れすぎていて、交通アクセスが悪い

リピーターとなる様な観光地が無い②

観光でまちづくりをしようという市民の意識が低い④

ガイド本に書かれていない場所がある①

観光施設等の案内表示が少ない

城下町なので道路が複雑である (奈良県奈良市では逆に生かしている) ①

交通の不便さ②

E班 まちの弱み・悪いところ

街の活性化が必要 ⑥

- 商店がシャッター通りとなり不便です
- 商店街はシャッターが降りてさびしい
- 地元商店街が死んでいる(シャッター通り)
- 地元商店と大型スーパーなど、共に栄えようとする気持が見えない
- 商工会議所が保守的、大型スーパー等の計画案をつぶす
- 店がすぐ閉まる
- 駅の前にも何もないバス停や店等

観光 ⑤

- 観光スポットは沢山有るが、市内の人は意外と見ていない
- 観光資源を活かされていない
- 観光地への時刻表やルートのを配布
- 観光地はあっても交通の便が悪く、又表示が少ない
- ひと目でわかる観光マップ
- 観光案内など少ないあっても目立たない

モラルの向上 ⑤

- ゴミ出しのルールマナーが守られていない
- 個人のモラル向上させていく政策が少ない
- 人間性の問題となりますが、道徳に欠けている
- 裏通りのゴミ捨てが多い
- 防災や災害の救援対策など具体的にとられていない
- ペットを飼っている人のマナーが悪い
- 忍川周辺川が汚い
- 市民参加の意識が希薄
- 買物をして人の荷物を思わず持つて行く人がいる
- 不審者が多い

地域の活動が消滅的 ③

- 地域になじみがないと何も情報が入ってこない
- 自治会の役員などは負担が大きく若い世代は参加しにくい?
- 近所付き合いが少ない
- 若い人(特にアパート)の自治会への加入率が低い
- 地域とのつながりの薄い人達にとって伝わりやすい情報がある
- 自治会の運営が古い役員としてする事が多いので、若い人がやめてしまう
- 近所付き合いが少ない
- 新しい人は入りづらい話づらい
- 老人会への入会が少ない
- 自治会の事が全くわからない
- コミュニティに対する関心に地域差がある
- 1割の世帯が自治会に未加入→情報伝達が出来ているのか?
- 老人会に入る人が少ない(老人が沢山居るのに)
- 他人に対して無関心が多い
- 昔からの所で隣り近所のつき合いが少ない
- 近所がうるさいからと言いたいことも言えない
- 地域活動に参加しないと何か言われてしまう

市民行事に人が集まらない ⑤

- 桜まつりがこわれた
- 体育祭への参加者が少ない
- 市のまつり(浮城まつり)への市民参加が少ない
- スポーツ大会等への参加者が年々減ってきている
- 市民まつりが無い
- 子供が大きくなってしまうとお祭り運動会等気にならなくなってしまう

施設の場の不足

- 活動の種類が少ない
- 紙楽施設が少ない
- 交流の場が少ない
- 遊ぶ広場が少ない
- 公園の整備が悪いトイレの水洗化など
- 緑道の歩道と自転車の道の交わる所が危ないと思う

行政 ②

- 色々な館を作っているのだが、それが活用されていないようだ
- 役所に行って聞いても無愛想なことが多く、1回で用事が終わらない
- 市民のための文芸誌がない
- 市に何か問い合わせをすると、たらい回しにされる
- 川辺の草刈をしてくれてはいるが、川の中の雑草も取ってほしい
- 首長が行政の出身の為、民の考えや行動に隔たりが見受けられる又、保守的である
- 町の中に必要無いものが多くある

情報不足 ④

- 各地区の情報がほしい(活動に対して)
- 自分から調べないと情報が入って来ない
- NPOや市民活動などの情報が少ない具体的な情報の伝達がない
- 地域の枠を超えた活動の情報が少なく参加しにくい
- NPOやコミュニティ等どういふものがあるかの情報発信がうまくなされていない
- 情報の発信の仕方

E班 まちの強み・良いところ

地域活動 ①

NPOや市民ボランティアの数が多い	9割の世帯が自治会に加入している	地域ボランティア小学生の通学の見守り	スポーツが盛んで子供連も参加が多い	夏祭りをしていますが、子供連が少数ですが、楽しんでます。夕方からは大人も参加して盛り上がっている状態です
公園でできたママ友達からの口コミ情報が多い	自治会組織がしっかりしている	地区ごとに子供の安全を守る取り組みがされている	地区ごとに毎年体育祭が行われている	市・地区等で祭り等を含め、様々な催しが行われている
年齢は85才位の人でしょうか。矢場中の草取りをしてくれている人が居りますが、なかなか一緒に草取りが出来ず、どこかで誰か声を掛け、皆でする様に出出来ないか	各班に消化器が設置されている	地域の結び付きが多く、助け合える	地域のお祭りや運動会などイベントが多い	スーパーでバックを忘れた時、届けて下さった方がいて嬉しかったです
1年に1回草刈を自治会やっている役員さんがよくしている	ゴミ拾いやドブ掃除など、みな良く参加しています	隣近所への関心が強い	地域ごとのお祭りイベントが多い	
		小学校の全人数が少ないので、とても仲がいい	子供のお祭りがある	

観光 ③

古墳や緑道に散歩する方が多くて良い事だと思います	忍城周辺はとても良い環境だと思います	公園等の施設が多くある
古墳周辺には四季折々の変化が見れる	古代蓮の里観光をはじめ、他町村から多数の来客が有り、市の発展の要になる	公園が多いので、遊ぶところがある
古墳公園 歴史的にも貴重な文化遺産である	観光スポットが多い	公園がとても緑が豊富
緑道は散歩道としても安全性から云っても良い場所と思われれます	B級グルメがある	孫連と遊びに行ける公園などたくさんある
道路が広くて歩道がある	町の中に温泉がある	市の催物が多くて孫連と一緒に出かけられる
公園・城等よその町に無い物が有るが、行田市民はその良さに気がついているのか	自然が豊か田園風景が多く、のどかな生活が出来る	空が広い

市民の集まる場

- 市民が利用できる建物がたくさんある
- 公民館のサークル活動が盛ん
- 図書館の利便性が良い利用者が多い

ゴミの収集 ①

- ゴミの回収が毎日来てくれる
- 生ゴミの回収が週5回もあって助かっている

情報

- 市報・HPなど情報提供の手段がある

3 第3回会議について

(1) 第3回会議の概要

第3回の会議は、10月4日（日）の13時30分～16時00分にかけて実施され、当日は49名の方が参加されました。

今回の会議は、「協働のアイデアを考えよう！」というテーマで実施し、前回意見を出して話し合われたまちの強みをさらに生かす、または、まちの弱みを解決するため、具体的にどのような取り組みが必要かを自助・共助・公助の視点で考えました。

まず、オリエンテーションとして、ワークショップの約束事や本日の内容など、15分程度の説明を行いました。

そして、各グループに分かれて、約110分間のワークショップを行いました。まずは、ファシリテーターにより、前回意見を出し合って分類したまちの現状や課題についておさらいをしました。

次に、考えてきたアイデアのテーマを口頭で発表してもらい、ホワイトボードに書き出し、解決策を話し合うテーマを4～5つにまとめました。解決策は、前回重要だと思う意見として緑のシールを貼った意見を中心に話し合い、準備シートに書いてきたアイデアをフセンに記入していただき、発表し合いました。出てきた解決策については、自助・共助・公助で分類を行い、さらに、似たようなアイデアを重ねるなど、さらに細かいテーマに分けていきました。そして、重要だと思う意見については、前回と同様にそれぞれシールを貼っていきました（自助、共助、公助ごとに1人各5枚まで、自助は赤色、共助は青色、公助は黄色）。

最後に、今後、市民と行政が協働して重点的に取り組むべきテーマを選定するとともに、次回の内容や準備シートの記入方法等について説明し、16時00分で終了となりました。

■ 当日使用した資料



【アイデアシート②】 自助・共助・公助の視点から考えてみてください！！				頁数 ()
共通するテーマ	自助(自分でできること)	共助(地域やボランティア、関係団体などができること)	公助(行政がすべきこと)	
観光の振興について	-観光ボランティアが安心して活躍する -語学のできる人は通訳ガイドになってもらう	-観光ボランティア団体が養成講座を開催	-特産品を販売する -関連団体と協働でイベントを開催する	

※このシートは事前に参加者が考えるためのシートであり、印刷はしません。

■第3回ワークショップの流れについて

①アイデアのテーマを口頭で発表しましょう！



②アイデアのテーマを分類し、集約しましょう！

●集約したテーマは、模造紙の左側を書いてみましょう（4～5つが目安）。

■集約例

- ・観光ボランティアの活性化
 - ・観光資源のPRについて
 - ・観光地への交通の便について
- 観光産業の振興について

模造紙例

○班	自助	共助	公助
各テーマ			
観光産業の振興			
商店街の活性化			
農業の振興			

【注意点！】※テーマは4～5つ程度に絞ってください。また、絞りきれない場合は最後に「その他」としてください。

■自助・共助・公助について

- 自助：個人や家庭による自助努力（自分でできることは自分でする）
- 共助：地域における相互扶助（隣近所や友人、知人とお互いに助け合う）やボランティア、NPOなどによる支え
- 公助：保健・医療・福祉などの関連する施策に基づくサービス供給（行政でなければできないことは、行政がしっかりとする）

③協働の解決策（アイデア）をフセンに書きましょう！

- 自助・共助・公助ごとに解決策（アイデア）をフセンに書いてみましょう！



【注意点！】

※必ず1枚のフセンに1つのアイデアを記入してください。

※自助・共助・公助ごとにフセンの色を変えましょう。

■自助のアイデア（例）

市民一人ひとりが「おもてなしの心」を持つ

④書いた具体的な解決策（アイデア）を発表しましょう！

- フセンにアイデアを書いたら、発表し合ひましょう。



【注意点！】※発表された意見を否定せず、周りの人はよく聞いてあげてください！

※発表した人から模造紙にフセンを貼っていきましょう！



⑤集約したテーマごとに、具体的な解決策（アイデア）を模造紙に貼っていきましょう。さらに、解決策（アイデア）を分類していきましょう。

テーマ：(例)観光産業を振興させる！

模造紙例

○班	自助	共助	公助
各項目			
観光産業の振興	📄 📄	📄 📄	📄
商店街の活性化	📄 📄	📄 📄	📄 📄
農業の振興	📄	📄 📄	📄 📄

自助 観光ボランティアガイドとして活躍する

共助 観光ボランティア団体が養成講座を開く

公助 市民参加のイベントを開催する

話し合っ集約したテーマをふまえた取り組み策を、まずは、それぞれが考えて意見を出し合ひましよう！

【注意点！】

※共助の取り組みの場合は、主語(地域や事業者など)を明確にしてください。

⑥出し合った取り組み策（アイデア）の中から、特に重要だと思ふ項目にシールを貼りましよう！

●シールを使っって特に重要であると思ふ取り組み策を考へてみましよう。

※「これだけは絶対に必要だ！」という取り組み策にシールを貼っってください。

※同じ項目に複数貼るのではなく、1つの項目につき1枚までとっしてください。

模造紙例

○班	自助	共助	公助
各項目			
観光産業の振興	📄 (赤)	📄 (青) 📄 (青)	📄 (黄) 📄 (黄)
商店街の活性化	📄 (赤)	📄 (青) 📄 (青)	📄 (黄)
農業の振興	📄 (赤) 📄 (赤) 📄 (赤)	📄 (青) 📄 (青)	📄 (黄) 📄 (黄)

取り組み策の中で、重要な項目について検討してください！

【注意点！】
シールは、自助が(赤) ●
共助が(青) ●
公助が(黄) ●

でそれぞれ1人5枚ずつとなっています。

(2) 第3回会議の当日プログラム

あいさつ

(5分)

13:30~13:35

ぎょうだ夢づくり会議の始まりです！

ぎょうだ夢づくり会議のはじまりのあいさつです。

オリエンテーション

(15分)

13:35~13:50

これから行うワークショップの説明をします！

資料に基づいて、本日のワークショップの説明を行います。

ワークショップ

(110分)

13:50~15:40

協働のアイデアを考えよう！

進行は、ファシリテーターが行います。

- ①前回決定したテーマをもとに、自助・共助・公助の視点で解決策（アイデア）をフセンに書いていきましょう。
- ②ひとりずつ意見を発表しましょう。
- ③全員の発表が終わったら、似たもの同士のフセンを整理分類しましょう。
- ④重要と考えるものについては、シールを貼っていきましょう。
- ⑤第4回で検討していく協働のプロジェクトのテーマを考えましょう。

※5分程度の休憩は随時取ってください！

※部屋の移動などがあるため、時間の余裕を持って作業を進めてください。

※15時40分には、必ず第1学習室に集合してください。

次回の予告

(15分)

15:40~15:55

次回は、協働のプロジェクトを考えよう！

第4回目の会議の内容を説明します。

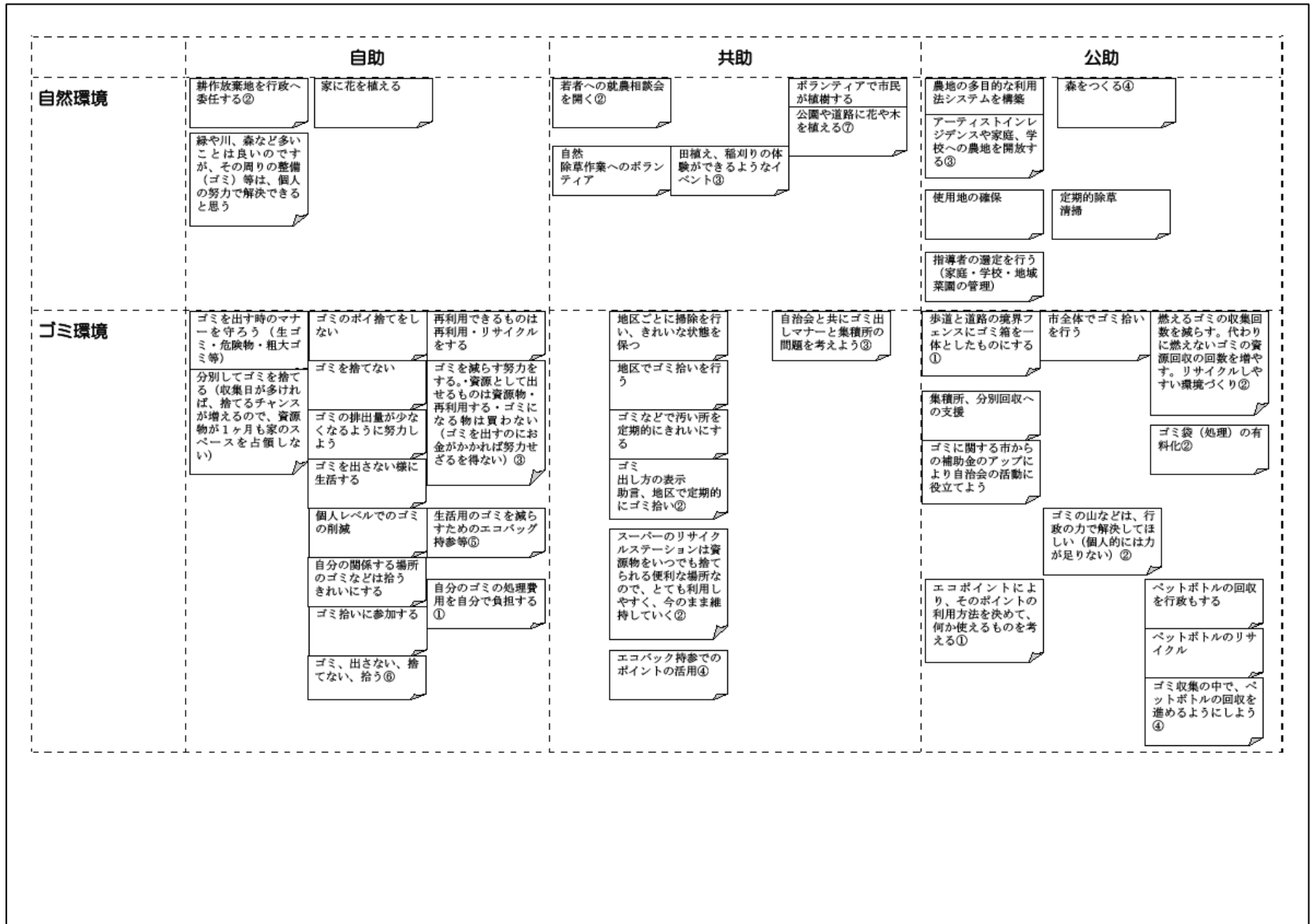
閉会のあいさつ

(5分)

15:55~16:00

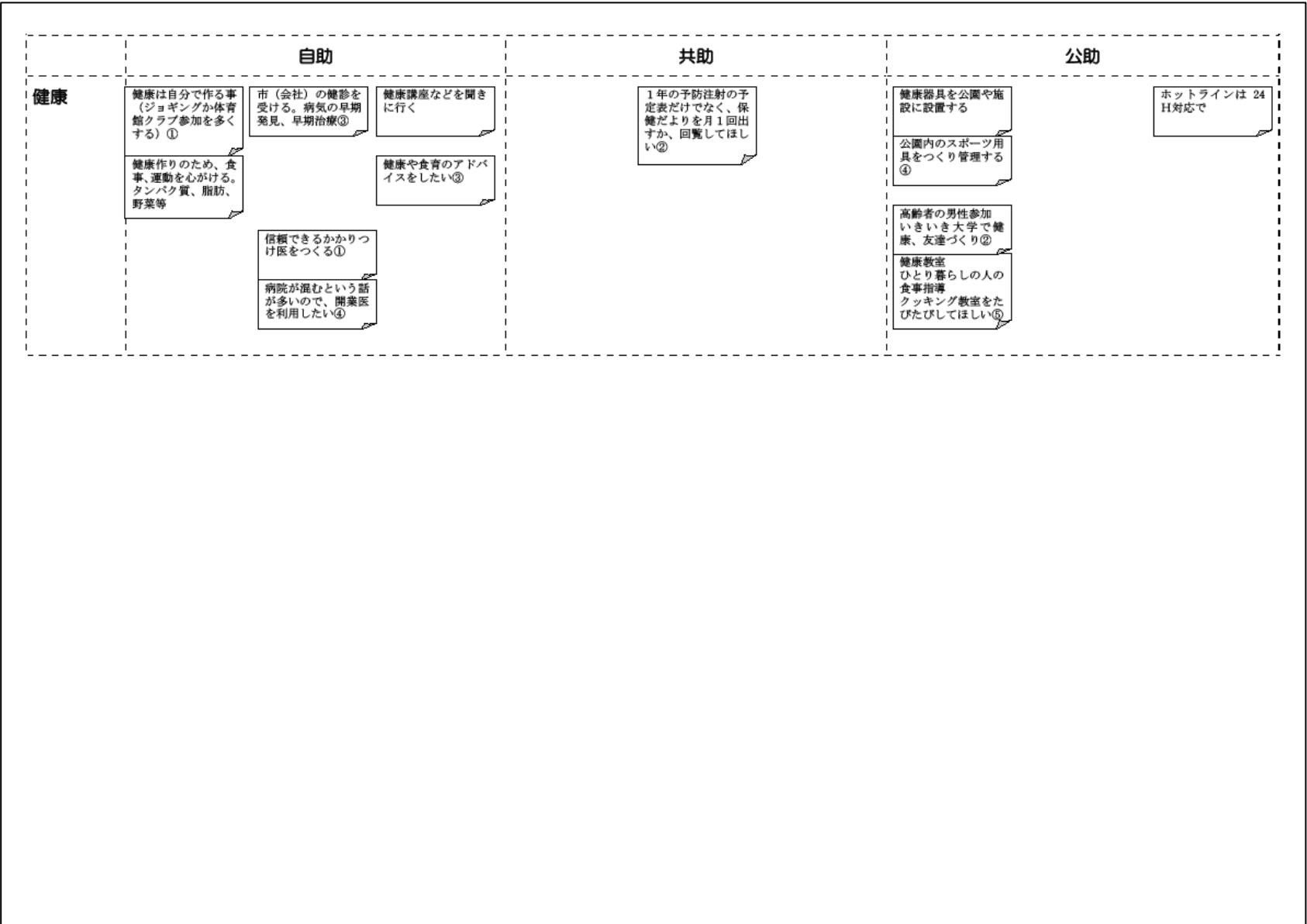
皆さんお疲れ様でした。

本日は皆さんお疲れ様でした。気をつけてお帰りください。

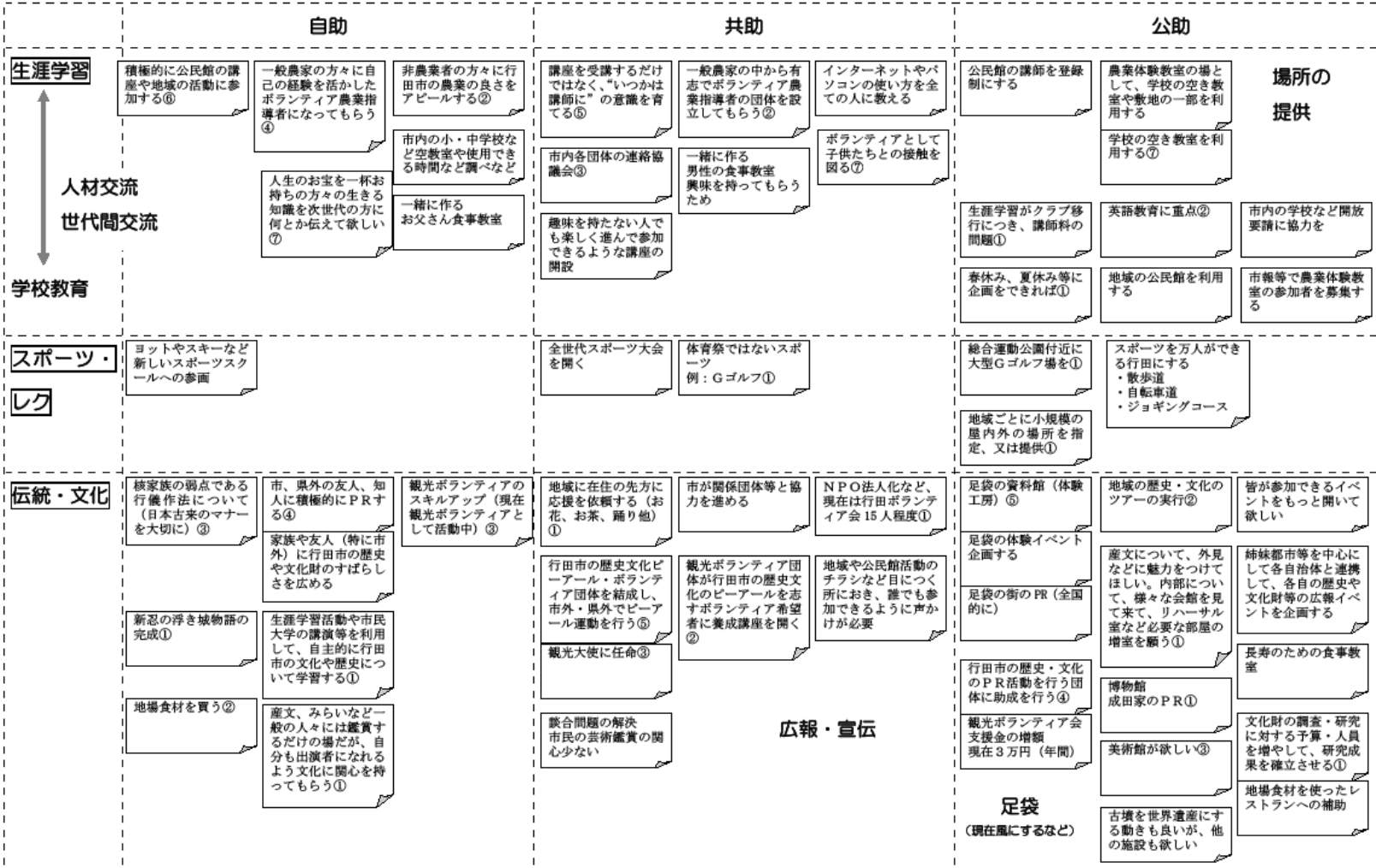


B班

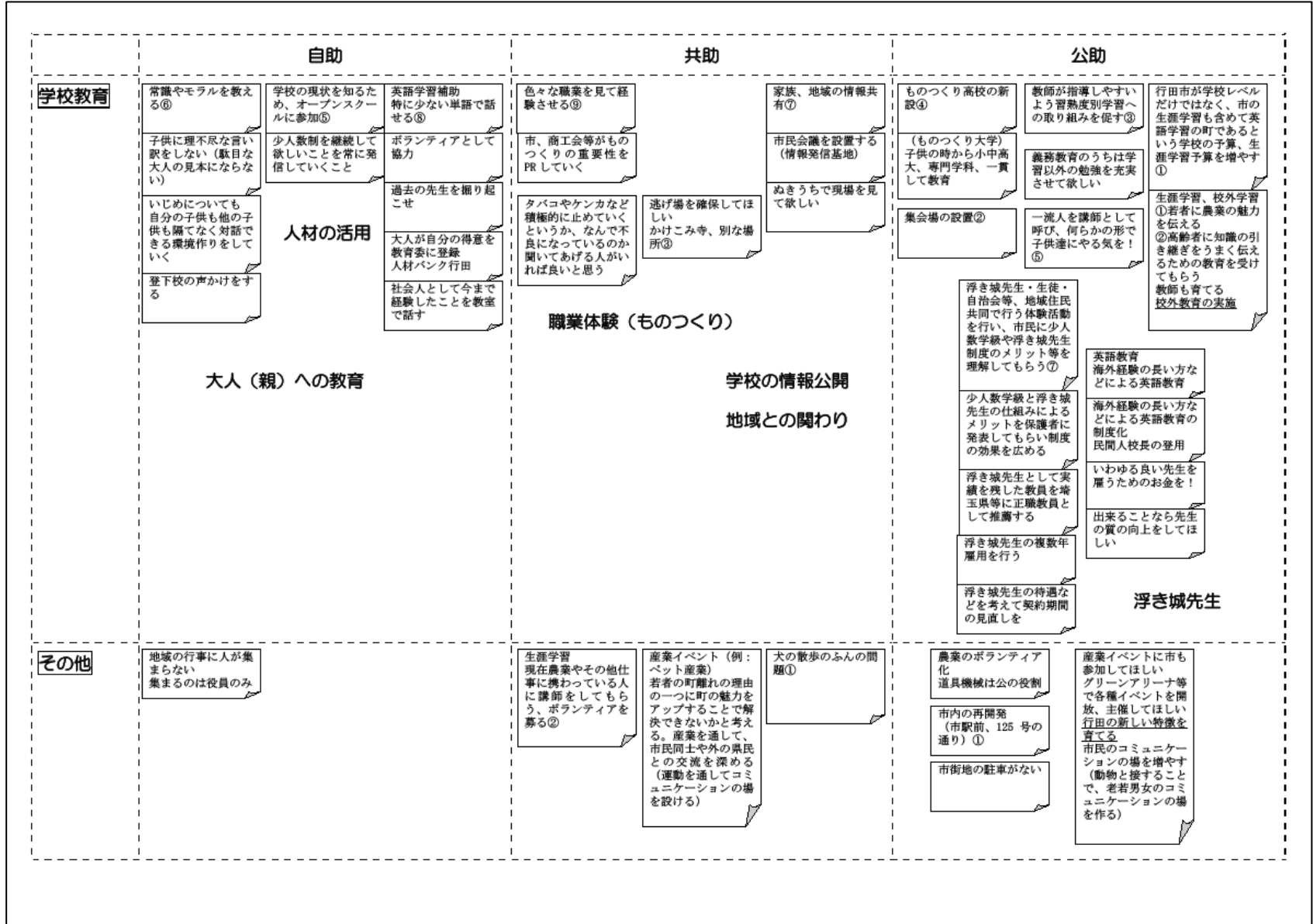
	自助	共助	公助
地域	<p>ボランティアに参加したい見守り その他できること②</p> <p>市政だよりに載っていたのだけど、いきいきサロンという有料ボランティア募集1人暮らしの老人の世話 電球取替、買物、色々料理、掃除、シニアの方歓迎</p> <p>見守りボランティアの機会があれば参加したい</p> <p>ひとり暮らしの人で病院へ行く手段(車)を持たない方の足になってほしい</p> <p>近所の1人暮らしが良いので見守りはできる</p> <p>一人暮らし又は老夫婦には他人に見て頂ける心を持って対応する</p> <p>色々な人と情報交換をし合う(情報を伝えていく)③</p> <p>近所の人とのコミュニケーションを大切にする</p> <p>なるべく公での行事には出席する(1人住まいの場合)</p> <p>地域の施設等のバリアフリー状況報告・提案</p> <p>地域の困窮者等の報告・提案</p> <p>家族と同居する(1人暮らしを減らす)①</p> <p>地域のイベントや活動に積極的に参加する</p> <p>公民館を利用して色々な講座に参加する</p>	<p>お互いに声かけ運動をするよう市の方で奨励しては②</p> <p>見守りボランティアの組織化をしてほしい(自治会で福祉担当をつくり、勝手にやっているのではないというマニュアルづくり)</p> <p>民生委員の下に地域の協力者を募集する②</p> <p>自力で出席できない方を把握して、近くの方で協力するボランティア</p> <p>毎日困っていることはないか、訪問して相談に乗ってあげる</p> <p>地域で一人暮らしや心配な家を把握する⑤</p> <p>地域のクリニック、民生委員等の情報の場、人「困った時どうしたら」</p>	<p>自治会長、班長さん等、先頭に立ちボランティアを募り、地域のお年寄りを楽しませる工夫</p> <p>ちょっとしたボランティアの受け手となり手の情報交換の場</p> <p>地域の交流の機会を増やす</p> <p>市役所で募集しているボランティア</p> <p>見守りボランティアの広報 市長がトップでの組織化</p> <p>軽費ボランティアの方を募集して病院、買物、墓参り等、電話1本で来てくれるシステムを作ってみては③</p> <p>郵便さん、お弁当屋さんなどが声かけをする。ボランティアさんが声かけする。その結果を市に報告、市は対応する</p> <p>市の方で自力で出席しにくい方を何らかの形でボランティアの方に知らせる①</p> <p>地域ごとの権物を増やす</p> <p>1人暮らしの方に緊急装置を義務付けてみては(現在は希望者のみと聞いています)③</p> <p>ショートなどで利用する場合は、介助者がいたれりつくせり、優しい言葉をかけてもらえるが、入居者には不親切であるという話を聞く。営業的である①</p> <p>巡回バス路線検討アンケートによる②</p> <p>ミラーをつけて頂く</p>
制度	<p>市の権物などに(公的機関)参加し、情報を得る</p> <p>市報など情報を気をつけて見てみる③</p> <p>「市長の手紙」を書いて、質問や要望をしてみる③</p> <p>出来ることは自分でやってみる。でも無理はしない。サービスを利用する③</p> <p>生ごみを少なくする危険な箇所を見る</p>	<p>市の総合公園ややすらぎの里へはバスを利用しても遠くて疲れる②</p> <p>市の「出前講座」で勉強会を開催する</p> <p>地域で話し合う場所を交代で掃除</p> <p>介護施設の情報、格付け、情報公開の場③</p>	<p>訪問する方を市の方で身元を保証する。有料にしてもよい</p> <p>市の方で行きたい希望の方が行く方法を考えてほしい</p> <p>要望を広く聞く</p> <p>積極的なPRを行う②</p> <p>正しい情報を伝える仕組みをつくる⑤</p>



C班



人材交流
世代間交流
学校教育



D班

農業

自助

年間を通して働ける・工夫をする・計画を立てる
1人 1,500h ~ 2,000h/年①

省エネ、地産地消に関心を持つ

休耕地の積極的な利用
サラリーマンなどに日曜・休日を活用した耕作④

農業ボランティアへの参加①

農業人口が少ない為に集団でするものもありますが、私の周りでは病気や年寄りで作業が進まない

特産物、農産物の販売所に商品提供③

地元農協の野菜の購入

J Aが金融機関的になってしまっている。本来の農業中心へ

農業体験等の地域コミュニティの開催①

共助

農業法人化への相談窓口④

対象者を集め勉強会や教育を実施する

農業に従事している若者を優先的に工場に雇い入れ、農業農家として農業を守る

農協と商工機関が共同で問題点をだし、共通に知恵を出し合う①

あぜ道談話も良いですが、文章で回覧板みたいにし、困っている人出来る人との二通りで自治会でまとめて会議を開き、進められれば良いと思う

公助

自給率を60%に上げる②

もうかる農作物を市と生産者と共同開発②

農繁期での人の斡旋機関の設置

学校で児童による作物栽培(体験ではない)①

モデルケースの紹介や融資仲介や利子の補助をする②

市による農地の貸し出し制度と運営

農業の後継者問題タスクチームの設置(有識者会議)①

農業政策で農家へのヒヤリング②

全国規模での後継者の募集・育成

減反政策の見直し

農業研修制度
未来を担う人材の発掘(市外の方、外国人も含む)⑤

地産地消を行政は積極的に支援していく

常時直売所で積極的に売り込む

工業
商業

民間、団塊の世代等のチャレンジ

工業物のアイデアを集める⑦

工業団地に人を雇う企業を優先して誘致する

誘致活動
工業団地の空きを埋める。簡単に空きを作らない

工業団地の売却には地価をできるだけ下げる

ポイントカードの発行(市内特約店との契約)①

空き店舗対策
チャレンジショップ助成

観光

自助

- フライをたくさん食べる①
- 行田市の素晴らしさを周りに伝える①
- 1人ひとりが行田を好きになり、名所やうまい物を市外の人に伝える⑥
- リピーターを増やす為に友人知人を行田に呼ぶ①
- ボランティアによる施設の案内パンフレットの配布・管理④
- 観光案内所のボランティアを歴史に興味を持った人に依頼する⑥
- 積極的な参加もてなしの心

共助

- 設置場所等のワークショップ
- 地域の話し合いワークショップ
- 任意のグループで開発
- 子供を対象に学校や自治会の協力を求め見学会や学習会を実施する①
- 良い施設をもっと理解を深める勉強会
- 観光スポットへのバスツアーの企画⑦
- 市内にある史跡に工夫を加える④
- 特別何か特徴のあるものを作る
- B級グルメが食べられる売店へ技術指導③
- 受け入れ体制・エキストラ(映画の撮影)
- 不用自転車を集め整備して貸し出す①
- 施設の手入れや清掃を徹底して印象を良くする(WC、休憩所等)①
- 販売所の管理や運営
- ボランティアとして、観光案内人として登録しておく。依頼があれば案内する。費用は1日1,000円位、昼食は負担してもらう①
- 観光ボランティアを多くする
- ボランティア参加

公助

- 観光会社に行田のスポットを観光プランに取り入れてもらう活動④
- 観光地に直接回るバス(駅から乗り換えなし)の設置
- シャトルバス(古代運)のルートの変更③
- 交通の利便性を良くする。
- コース設定、PRに協力。
- 4大エリアを活かしたまちづくり(観光振興)
 - ・さきたま古墳
 - ・古代運の里
 - ・忍城
 - ・中心市街地(歴史的建造物)
- 観光・散策コース・周遊コースの設定(半日、1日コースなど)交通の便の悪さを逆手にとる
- 観光案内所等、人の集まる所に行田の特産品やお土産をそろえておく⑦
- 地域特産物の直売場の提供
- 水資源公団の人にボランティアで案内してもらい、シャケが登るのも因面うつるのが見える
- 埋蔵米を増やす
- 生産緑→エコ→観光資源とをミックスした観光
- 観光資源の開発に対する市民参加①
- 景観保存地域指定①
- 学校、公益法人で月1回の「フライの日」を作り、需要の拡大
- 体験交流会
 - ・足袋・フライゼリー
 - ・農業・はにわクラブ
 - ・農業ものづくり大会
- だんば祭りの再構築①
- 観光でまちづくりをするという市民の意識向上をさせる為、市民が観光地を訪ねる仕組み作り(スタンプリリー、景品等)
- まちかどサイン整備
- 歴史資源の保全活動(ソフト・ハード)①
- 物産店を作る直販店道の駅⑤
- 売店の建設(道の駅)
- アドバンテスト、クラブハウスの購入
- お客さんに何が良く、何が悪かったかを聞きアビールポイント、改善点を明確にする。データ化して対応①
- 昔の城下町の地図に今の現在地の写真を加え、行く方法を記載する①
- 行田フィルムコミッションの充実
- 今の時代に合った観光の創造(例)人気アニメの設定の街、プロダクションへの働きかけ
- 歴史・観光キャラクターの開発①
- パンフレットの作成、配布所の整備③
- 行田をモチーフとした小説等の公募
- マスメディアの利用
- 行田市のホームページリニューアル。フライを全面的に打ち出すレシピの動画配信③
- 役所の手助けを求める
- その為には役所がそれと一緒に手助けする
- 観光資源の整備に対する市の資金援助
- 人材(資源)、学園都市化(ものづくり大学)①

E班

地域活動
(防災・防犯・ゴミ・買物
など)

自助			共助			公助	
<p>ゴミモラル</p> <p>モラル(ゴミ・犬のフン・タバコの吸い殻)駐車場の出入口を守る④</p> <p>市民1人1人が街をきれいにしよう気を付ける。犬の散歩の時など②</p> <p>ゴミをポイ捨てしている人がいたら声をかける</p> <p>犬の散歩の時、ゴミ拾いをする</p>	<p>買物</p> <p>老人や1人暮らしの人には声を掛けてやって買物などや用たしをしてやる</p>	<p>防犯・防災</p> <p>防犯・防災・救命訓練に参加する⑦</p> <p>近所付き合い</p> <p>両隣、組長、自治会長さんくらいとは仲良くする①</p>	<p>地域の中の集まる場</p> <p>顔を合わせる機会がないので、付き合いがなくなっている。まず誘い合わせてお茶飲みから始める⑤</p>	<p>地域の意識向上</p> <p>ボランティアや関連機関の協力を得て、講習などの数を多く持ってもらおう⑤</p>	<p>自治会体質</p> <p>前例踏襲をやめて新しい課題に対応できる体質にする(自治会)②</p>	<p>地活への関与</p> <p>団体と協働する</p> <p>自治会などに積極的に活動の場として行う様に指導してもらおう②</p>	<p>ゴミの問題</p> <p>ゴミ出し場について1ヶ所30軒以上になったら、2ヶ所にするとの決めがあるようだが、40~50軒おきに来ていて、市に相談してもまあまあということでは話にならない③</p> <p>街の中を流れている川だけにきれいにして欲しい。川の中の草、ゴミ非常に見苦しい③</p>

観光・市民まつり
(ルート・マップの作成)
(観光拠点)
(市民参加、市内外の人が集まる場)など

自助		共助		公助		
<p>乗り物</p> <p>観光場所に一人でも行けるような乗り物がほしい⑦</p> <p>健康のために自転車を使う</p>	<p>マップの作成</p> <p>観光スポットの簡単マップを作るA4版位のモノクロで見やすいもの⑥</p> <p>観光マップづくりやボランティアの観光案内係など参加する③</p>	<p>マップの作成</p> <p>観光コース作成等</p> <p>歴女のためのマップ⑥</p>	<p>市民参加</p> <p>自治会の協力を得て、空店舗を使いやすくしてもらいたい①</p> <p>ものつくり大学の学生に協力①</p> <p>イベントなど、ボランティアや市民から参加を集い、企画・運営を任せるのも良いのでは?④</p>	<p>PR方法</p> <p>各自治会でも参加する為に自治会のPRをかねた催物を出して参加できると①</p> <p>観光案内の養成講座などの講習会を積極的に開く⑦</p>	<p>案内看板などの設置</p> <p>街の中心から外れると歩道狭く悪路が多い。外燈が少ない⑥</p> <p>キャラクターの顔のぬけた板(顔をはめて記念写真をとる板)を設置する</p> <p>観光案内の看板を主要道路等にどこから見ても分かる様立てて欲しい①</p> <p>犬のフンを入れるゴミ箱</p>	<p>立ち寄る場所</p> <p>古墳の近くにもでも道の駅の様な所ができれば良いと思う③</p> <p>観光案内所の設置をもっと増やす</p> <p>観光スポットを回るバスを用意できると今よりもっとリュックを背にして楽しむ人が集まってくる①</p> <p>観光ルートの考案</p> <p>道の駅などを開いて農作物やBグルメの宣伝をしてほしい③</p> <p>サイクリングマップ③</p> <p>商工会議所から出ている観光案内を預かっている所は名所をはっきり把握して説明、誘導できると良いと思う</p>

情報発信のあり方について
 (誰にでも分かりやすいもの)
 (一元的に情報が入ったガイドブック) など

自助

市民からも情報提供
 インターネット①
 一元的に情報が入ったガイドブックの作成に参加。情報提供④

共助

情報収集・提供 (掲示板・メールなど)
 インターネット③

公助

周知の方法
 インターネット③
 町の各所々にインターネットのような情報をテレビ映像にしてみたい
 情報、PR、配布②
 市の公報をもう少し分かりやすく、見やすく
 継続的に市民の意見を聞いて、よりよい情報の開示とパンフレット等の作成①

PR
 駅前にも市民が集まれる場が必要 (今の案内所は小さい) ②
 市民祭りなどは市報や町には該などが立っているが、報道などで多くの人に知らせた方がよい

対応
 大きい話があると即つぶしてしまう保守的な町、行田。どうすればそんな中から抜けられるのか①

4 第4回会議について

(1) 第4回会議の概要

第4回の会議は、10月18日（日）の13時30分～16時00分にかけて実施され、当日は50名の方が参加されました。

今回の会議は、「協働のプロジェクトを考えよう！」というテーマで実施し、前回のテーマごとの解決のアイデアを深く掘り下げて、プロジェクトとしてまとめました。

今回は、初めからグループごとに集合し、集まった人からホワイトボードに準備シートを貼りつけていただきました。はじめの5分間はオリエンテーションとして、ワークショップの約束事や本日の内容などの説明を行いました。

そして、約150分間のワークショップを行いました。まずは、ファシリテーターにより、前回意見を出し合って分類したテーマや解決策のアイデアについておさらいをしました。

次に、テーマごとに分かれて参加者の方が書いてきた準備シートを用い、準備シートをはさみで切り分けながら似たようなアイデアをまとめつつ模造紙に貼りつけ、プロジェクトとしてまとめていきました。そして、テーマが複数あるグループについてはテーマごとにプロジェクトを発表し合い、グループ全員で検討しました。ワークショップの残り時間には、最終的なプロジェクトの確認と発表者の決定などを行いました。

最後に、今日の結果を提言書にまとめ、事前にリーダーや発表者に配布して確認していただくことなどを説明し、16時00分に終了となりました。



■ 当日使用した資料

【アイデアシート③】 協働のプロジェクトを考えてみてください！

氏名： _____

プロジェクト名を記入してください。

プロジェクトに担当する役割や職種を記入してください。 担当する役割や職種が異なる場合は、複数記入してください。

担当する役割や職種が異なる場合は、複数記入してください。

具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。
具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。
具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。	具体的な内容を記入してください。

※このシートは協働の会議でホワイトボードに貼りつけて、共有されます。

プロジェクト名

プロジェクトに担当する役割、職種など

プロジェクトに担当する役割や職種

具体的な内容を記入してください。

具体的な内容	具体的な内容	具体的な内容	具体的な内容
具体的な内容	具体的な内容	具体的な内容	具体的な内容
具体的な内容	具体的な内容	具体的な内容	具体的な内容

その他

模造紙例

自由欄

協働の会議で出てきたアイデアやアイデア、その他を自由に記入してください。

■第4回ワークショップの流れについて

①ホワイトボードに貼りつけてあるシートを確認しましょう！

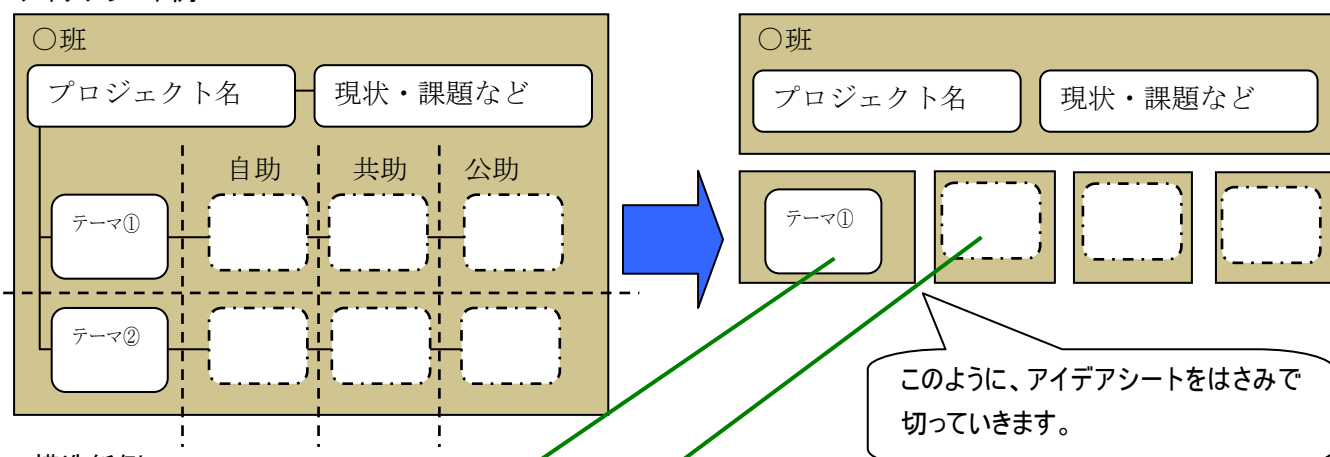
- 他の参加者の方が書いてきたシートを読みましょう。
- 書いてある内容について、参加者同士で質問をし合ひましょう。



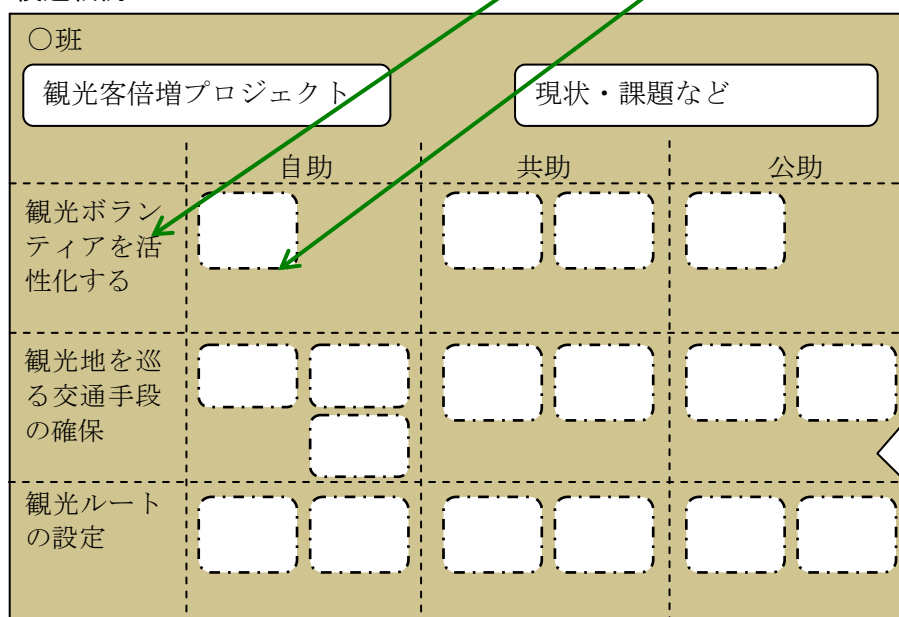
②テーマごとにプロジェクトをまとめましょう！

- 参加者の方が書いてきたアイデアシートをテーマごとに分け、プロジェクトとしてまとめます。
- アイデアシートを意見ごとにはさみで切り、模造紙に貼っていきます。
- 1枚の模造紙に1つのプロジェクトとして、まとめます。

アイデアシート例



模造紙例



上記で切り離した一つひとつのアイデアを同じような内容でまとめていき、テーマを決定します。

現状や課題は、第2回の会議で話し合った内容をもとに記入してください。

③プロジェクト名を考えてみましょう！

- プロジェクトの目的や対象等を決め、プロジェクト名を決定しましょう。

(2) 第4回会議の当日プログラム

あいさつ

(5分)

13:30~13:35

ぎょうだ夢づくり会議の始まりです！

ぎょうだ夢づくり会議のはじまりのあいさつです。

オリエンテーション

(15分)

13:35~13:50

これから行うワークショップの説明をします！

資料に基づいて、本日のワークショップの説明を行います。

ワークショップ

(110分)

13:50~15:40

協働のプロジェクトを考えよう！

進行は、ファシリテーターが行います。

- ① 来場した人からアイデアシートをホワイトボードに貼りつけてください。そして、時間があれば、他の人のシートを見ておいてください。
- ② ひとりずつシートの内容を発表しましょう。
- ③ 全員の発表が終わったら、似たようなものをまとめていきましょう。
- ④ 協働のプロジェクトを肉付けしていきましょう。

※5分程度の休憩は随時取ってください！

※部屋の移動などがあるため、時間の余裕を持って作業を進めてください。

※15時40分には、必ず第1学習室に集合してください。

次回の予告

(15分)

15:40~15:55

次回は、これまでの成果を発表しましょう！

第5回目の会議の内容を説明します。

閉会のあいさつ

(5分)

15:55~16:00

皆さんお疲れ様でした。

本日は皆さんお疲れ様でした。気をつけてお帰りください。

5 第5回会議について

(1) 第5回会議の概要

第5回の会議は、11月15日（日）の13時30分～16時00分にかけて実施され、当日は58名の方が参加されました。

今回の会議は、「これまでの成果を発表しよう！」というテーマで実施し、全5回の会議の成果をグループごとに発表し合いました。

前半はグループごとに集合し、はじめの5分間はオリエンテーションとして、ワークショップの約束事や本日の内容などの説明を行いました。それから、第4回の会議の内容をまとめた提言書に目を通し、内容の確認と発表の準備を行いました。

後半は、提言書を中心に、全5回で話し合われた内容について、グループごとに発表がありました。1グループにつき約15分間でまとめていただき、それぞれ作り上げたプロジェクトについて発表し合いました。

また、発表の中で、市民一人ひとりの力はないが、集まると大きな力になります。自助努力や市民の役割を考えると、それらの力を発揮する場を設けるため、夢づくり会議を推進会議として発展させるのはどうかとの意見が聞かれました。

さらに、行田市には様々な職業や能力を持っている人が数多くいますが、現在は点在しています。その能力を持っている人が組織を作り、そこからリーダーを選び、学びの場を作れば、あらゆる年齢層の人が参加することができます。また、そのような能力を子どもたちに伝えていくことが重要です。プロから見て教わるのが大切です。しかし、そういう組織を作ることは市民の力だけでは難しいので、行政の力を借りて、行田市の人材バンクを作ることが必要であるとの意見が聞かれました。

最後に、行田市をよりよいまちにしていこうためには、市民一人ひとりが意識を持って参加することが重要であり、ボランティアが重要であるとの意見が各グループから多く聞かれました。

グループ発表後、質疑応答を行い、その後、第1回の会議でレクチャーを行った市役所の方から、提言書の内容についての感想や全体の講評がありました。

最後に、アンケートを記入し、16時00分に終了となりました。



■第5回ワークショップの流れについて

①提言書の内容を確認しましょう！

- 提言書を読み、修正や追加したい内容があれば、意見を出し合ひましょう。
- 発表の準備を行ひましょう。

②全5回で話し合ったことについて発表しましょう！

- 各グループで、全5回で話し合った内容について発表していただきます。
- 各グループの代表者に15分程度で発表していただきます。



③最後に…

- 2人程度の方に、今回の夢づくり会議の感想を言っていただきます。
- 各グループの発表を踏まえ、第1回の会議でレクチャーをしてくれた市役所の方に講評をしていただきます。

(2) 第5回会議の当日プログラム

<p>ワークショップ (40分) 13:30~14:10</p>	<p>提言書を確認し合おう!</p> <p>進行は、ファシリテーターが行います。</p> <ol style="list-style-type: none">①提言書の内容をチーム全員で確認ください。②削除する箇所や追加する内容があれば検討してください。③最終的な提言書の内容を確認してください。 <p>※早く終わったチームは発表方法などを確認してください。 ※時間があれば、前もってアンケートをご記入ください。 ※14時10分には、必ず第1学習室に集合してください。</p>
<p>グループ発表 (90分) 14:10~15:40</p>	<p>どのようなプロジェクトになりましたか?</p> <p>各チームで話し合ったことを発表しましょう。 (発表時間: 1チームにつき約15分)</p> <p>※発表後に質問があればしてください。 ※2チームが終了したのちに、休憩を5分間はさみます。</p>
<p>インタビュー (10分) 15:40~15:50</p>	<p>夢づくり会議に参加してどうでしたか?</p> <p>全5回の感想等を発表していただきます。</p>
<p>講評 (5分) 15:50~15:55</p>	<p>各チームの発表を受けての講評です。</p> <p>市役所の方に講評していただきます。</p>
<p>閉会のあいさつ (5分) 15:55~16:00</p>	<p>全5回ありがとうございました。</p> <p>全5回ありがとうございました。気をつけてお帰りください。</p>